

建築工事特記仕様書【令和8年4月版】		⑦ 事故報告 (1.3.9)		⑧ 建築材料等 (1.4.2)		⑨ 室内の空気中の化学物質濃度の測定 (1.5.10)		⑩ 特別な材料の工法		⑪ 建築基準法による風圧力等の指定		⑫ 設計G.L.		⑬ 技能士 (1.5.2)																																																																																																																									
<p>I 工事概要</p> <p>1 工事番号・名称</p> <p>2 工事場所</p> <p>3 用途地域等 都市計画区域(内・外) 用途地域() 防火地域等(防火・準防火・指定なし・22条) その他の地域・地区()</p> <p>4 主要用途</p> <p>5 敷地面積</p> <p>6 工事の概要</p> <p>7 別途工事</p> <p>8 その他</p> <p>9 特記仕様書の範囲 特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。 ・ 構造特記仕様書 ・ 外構工事特記仕様書 ・ 植栽工事特記仕様書 ・ 解体工事特記仕様書 ・ 電気設備工事特記仕様書 ・ 機械設備工事特記仕様書</p> <p>II 建築工事仕様</p> <p>1. 共通仕様 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(令和7年版)」(以下、「標準仕様書」という。)による。ただし、標準仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書(令和7年版)」(以下「改修標準仕様書」という。) 「公共建築木造工事標準仕様書(令和4年版)」(以下「木造標準仕様書」という。) 及び「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」(以下「解体共通仕様書」という。)による。なお、施工条件明示書は、特記仕様書に含める。</p> <p>2. 特記仕様 1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。 2) 特記事項は、◎印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。◎印と◎印のついた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の()、< >及び[]内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p>		<p>工事中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、監督職員から指示があった場合は「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。(宮城県HP「事故発生報告」参照)</p>		<p>材料の品質等 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>環境への配慮 使用する材料は、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮し、かつ石綿を含有しないものとする。</p> <p>ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド放散量は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量 規制対象外の場合の建築材料 1) JIS及びJASのF☆☆☆☆品 2) 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 3) 次の表示のあるJAS適合品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用</p>		<p>※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 (1.5.10) 試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の測定マニュアル(統合版)」の最大濃度推定法による。 測定対象物質 ※ ホルムアルデヒド(濃度指針値 100 µg/m³・0.08ppm) ※ フォルムアルデヒド(濃度指針値 220 µg/m³・0.05ppm) ※ トルエン(濃度指針値 260 µg/m³・0.07ppm) ※ 1,2-ジクロロエタン(濃度指針値 370 µg/m³・0.085ppm) ※ ベンゼン(濃度指針値 200 µg/m³・0.05ppm) 測定する室等: ()</p> <p>測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を1部提出する。 a 測定結果 b 試料採取時の状況(気温・湿度(室外・室内)、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数) c 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器</p> <p>測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡は受けない。</p> <p>※ 室内VOC濃度の測定結果に関する書面の当該施設への掲示については、施設管理者に依頼する。</p> <p>総揮発性有機化合物の測定は「24章 総揮発性有機化合物(TVOC)測定」参照</p>		<p>「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。</p> <p>(9.4.4)(10.5.3)(13.2.3、3.3、4.3)(14.7.3)(16.13.2、14.5)(23.5.4)</p> <p>適用工事 建築基準法の指定</p> <p>・ 合成高分子系ルーフィングシート工法 風速(V0) ※30 ・ 外壁乾式工法 ・ 長尺金属板葺き 地表面相区分・Ⅱ・Ⅲ ・ 折板葺き ・ 粘土瓦葺き 多雪地域の指定 ・ 有 ・ 無 ・ アルミニウム笠木 ・ オーバーヘッドドア ・ ガラスブロック ・ 屋上緑化</p>		<p>※ 図示 ・ 現状平均地盤高</p> <p>・ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。</p> <p>工事種目 技能検定職種(技能検定作業)</p> <p>仮設工事 ・ とび(とび作業)</p> <p>鉄筋工事 ・ 鉄筋施工(鉄筋組立作業)</p> <p>コンクリート工事 ・ 型枠施工(型枠工事作業)</p> <p>・ コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工事作業)</p> <p>鉄骨工事 ・ 鉄工(構造物鉄工作業)</p> <p>・ ALCパネル施工(ALCパネル工事作業)</p> <p>コンクリートブロック、ALCパネル及び押出成形セメント組工事</p> <p>防水工事 ・ 防水施工 ・ アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ 改質7770シート防水工事作業 ・ FRP防水工事作業</p> <p>石工事 ・ 石材施工(石張り作業)</p> <p>タイル工事 ・ タイル張り(タイル張り作業)</p> <p>木工事 ・ 建築大工(大工工事作業)</p> <p>屋根及びとい工事 ・ 建築板金(内外装板金作業)</p>		<p>④ 完成図等</p> <p>⑬ 完成写真</p> <p>⑭ 設備工事との取合い</p> <p>⑮ 火災保険等</p> <p>18. 住宅瑕疵担保責任</p> <p>2 仮設工事</p> <p>① 仮囲い</p> <p>② 危害防止</p> <p>③ 交通誘導員</p> <p>④ 揚重機械器具</p> <p>⑤ 監督職員事務所</p> <p>⑥ 工事表示板</p> <p>⑦ 事業コスト表示板</p> <p>⑧ 工事用水</p> <p>⑨ 工事用電力</p> <p>⑩ 工事用通路</p> <p>⑪ 足場等</p> <p>3 土工事</p> <p>① 埋戻し及び盛土の種類</p> <p>② 建設発生土の処理</p> <p>3. 有害物質含有調査</p>		<p>金属工事 ・ 内装仕上施工(鋼製下地工事作業) ・ 建築板金(内外装板金作業) ・ パルコニー施工(金属パルコニー工事作業)</p> <p>左官工事 ・ 左官(左官作業)</p> <p>建具工事 ・ サッシ施工(ビル用サッシ施工作業) ・ ガラス施工(ガラス工事作業)</p> <p>カーテンウォール工事 ・ 自動ドア施工(自動ドア施工作業) ・ カーテンウォール施工(金属製カーテンウォール工事作業) ・ サッシ施工(ビル用サッシ施工作業) ・ ガラス施工(ガラス工事作業)</p> <p>塗装工事 ・ 塗装(建築塗装作業)</p> <p>内装工事 ・ 内装仕上施工 ・ プラスチック系床仕上工事作業 ・ ボード仕上工事作業</p> <p>・ 表装(壁装作業)</p> <p>排水工事 ・ 配管(建築配管作業)</p> <p>舗装工事 ・ 路面標示施工 ・ 溶融・イントロド・マーカ工事作業 ・ 加熱・イントロドマーカ作業</p> <p>植栽工事 ・ 造園(造園工事作業)</p> <p>営繕工事完成引渡要領(令和7年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課)により作成する。</p> <p>※ 白焼縮小(A3版)2つ折製本 2部 ※ 完成図面 JWW形式又はDXF形式のCADデータ及びPDF形式 DVD-R等2部</p> <p>※ 作成する ・ 作成しない 営繕工事写真撮影要領により、完成届に添付する完成写真とは別に次のものを原本(電子媒体)とともに監督職員に提出する。 なお、原本は、DVD-R等で提出すること。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>サイズ</th> <th>撮影箇所数</th> <th>部数</th> <th>提出様式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※カラー</td> <td>※L</td> <td>※営繕工事写真</td> <td>※1部</td> <td>※工用アルバムA4版</td> </tr> <tr> <td>・白黒</td> <td>・2L</td> <td>撮影要領の完成写真程度</td> <td>・部</td> <td>ポケット式程度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・六切り</td> <td>・箇所</td> <td>・枚</td> <td>・フリーアルバム(台紙寸法323×270程度)</td> </tr> </tbody> </table> <p>アルバムは、監督職員との協議により紙媒体又は電子媒体とする。</p> <p>施工範囲 各工事の区分表による。 施工図 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。</p> <p>工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。 保険の種類 ※ 火災保険 ※ 建設工事保険 保険期間 ※ 工事着手から工事目的物引き渡しまで</p> <p>住宅瑕疵担保責任法に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付あり(新築住宅の場合) ・ なし(新築住宅以外の場合)</p> <p>※ 設ける ・ 設けない ・ 仮囲いの位置及び延長は図示による。 ・ キャスターゲート(H=) × 箇所 ・ シートゲート(H=、W=) × 箇所</p> <p>※ シート張り ・ 金網養生</p> <p>・ 配置する(日 × 人 = 人日) ※ 配置しない</p> <p>・ トラッククレーン(t吊り) × 日 ・ (t吊り) × 日</p> <p>※ 設けない(請負者事務所に打合せ会議室を確保する) ・ 設ける(規模 m²程度 請負者事務所と同棟 ・ 可 ・ 否) 備品()</p> <p>※ 設置する ・ 設置しない 営繕工事における工事及びコスト表示要領(令和6年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課制定)による。</p> <p>・ 設置する(5億円以上の工事が対象) ・ 設置しない 営繕工事における工事及びコスト表示要領(令和6年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課制定)による。</p> <p>構内既存の施設 ・ 利用できる(※有償 ・ 無償) ※ 利用できない</p> <p>構内既存の施設 ・ 利用できる(※有償 ・ 無償) ※ 利用できない</p> <p>※ 指定しない ・ 指定する(図示)</p> <p>(2.2.4) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省令和5年12月改定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。</p> <p>種別 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 (3.2.3)(表3.2.1) C種の場合 建設発生土投入数量 m³ 発生場所</p> <p>(3.2.5) ・ 構内指示の場所に敷きならす。 ・ 構内指示の場所にたい積する。 ・ 構外指示の場所に搬出する。 受入れ施設名・所在地(km)</p> <p>・ 有害物質の含有を調査する。 調査範囲及び項目 ※図示</p>		分類	サイズ	撮影箇所数	部数	提出様式	※カラー	※L	※営繕工事写真	※1部	※工用アルバムA4版	・白黒	・2L	撮影要領の完成写真程度	・部	ポケット式程度		・六切り	・箇所	・枚	・フリーアルバム(台紙寸法323×270程度)	<p>4 地業工事</p> <p>1. 支持地盤 (3.2.1)(4.2.4)(4.3.4)(4.3.5)(4.4.4)(4.5.5)(4.5.6)</p> <p>・ 杭基礎 支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端の位置含む) ・ 図示による</p> <p>・ 直接基礎 支持層の位置及び土質(基礎底部の位置含む) ・ 図示による</p> <p>・ 地盤の載荷試験(平板載荷試験) ・ 行う 試験の方法、位置及び載荷荷重は図示による</p> <p>(4.2.2)(4.3.1)(4.3.3)~(4.3.6)(4.3.8)</p> <p>2. 既製コンクリート杭地業</p> <p>杭の種類 ・ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭) ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭) ・ 外設鋼管付きコンクリート杭(SC杭) SC杭の鋼管材料 ・ SKK400 ・ SKK490</p> <p>杭の種類、性能及び曲げ強度等による区分(種別)、寸法、継手の箇所数等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>試験杭</th> <th>種類</th> <th>杭径(mm)</th> <th>長さ(mm)</th> <th>継手数</th> <th>セツト数</th> <th>長期設計支持力(kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">上杭</td> <td>中杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">本杭</td> <td>上杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>杭先端部形状 ・ 開放型 ・ 半開放形 ・ 閉そく形</p> <p>工法 ・ セメントミルク工法 ・ 図示による</p> <p>・ 特定埋込杭工法 ・ H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で α=250を採用できる工法 ・ 図示による ・ 上記以外の特定埋込杭工法 ・ 図示による</p> <p>工法 ・ プレポーリング拡大根固め工法 ・ 中掘り拡大根固め工法 ・</p> <p>杭の精度 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 評定等の評価内容による 建込み時の杭の鉛直度 ・ 1/100以内 ・ 評定等の評価内容による</p> <p>杭の継手の工法 ・ 溶接継手 溶接材料 ・ 標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ 機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※評定等を受けた工法</p> <p>杭頭の処理等 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法(切断にともなう補強方法含む) ・ 図示による</p> <p>3. 鋼杭地業 (4.2.2)(4.4.1)(4.4.3)~(4.4.6)</p> <p>鋼杭の材料 ・ 図示による</p> <p>杭の種類、寸法、継手の箇所数等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>試験杭</th> <th>種類</th> <th>杭径(mm)</th> <th>板厚(mm)</th> <th>杭長(mm)</th> <th>継手数</th> <th>セツト数</th> <th>長期設計支持力(kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">上杭</td> <td>中杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">本杭</td> <td>上杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>特定埋込杭工法 ・ H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で α=250を採用できる工法 ・ 図示による ・ 上記以外の特定埋込杭工法 ・ 図示による</p> <p>工法 ・ ()</p> <p>杭の継手の工法 ・ 溶接継手 形状 ・ JIS A 5525による 溶接材料 ・ 標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・ 機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※評定等を受けた工法</p> <p>杭頭の処理等 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法(切断にともなう補強方法含む) ・ 図示による</p>		試験杭	種類	杭径(mm)	長さ(mm)	継手数	セツト数	長期設計支持力(kN/本)	備考	上杭	中杭							下杭							本杭	上杭							中杭								下杭							試験杭	種類	杭径(mm)	板厚(mm)	杭長(mm)	継手数	セツト数	長期設計支持力(kN/本)	備考	上杭	中杭								下杭								本杭	上杭								中杭									下杭							
分類	サイズ	撮影箇所数	部数	提出様式																																																																																																																																			
※カラー	※L	※営繕工事写真	※1部	※工用アルバムA4版																																																																																																																																			
・白黒	・2L	撮影要領の完成写真程度	・部	ポケット式程度																																																																																																																																			
	・六切り	・箇所	・枚	・フリーアルバム(台紙寸法323×270程度)																																																																																																																																			
試験杭	種類	杭径(mm)	長さ(mm)	継手数	セツト数	長期設計支持力(kN/本)	備考																																																																																																																																
上杭	中杭																																																																																																																																						
	下杭																																																																																																																																						
本杭	上杭																																																																																																																																						
	中杭																																																																																																																																						
	下杭																																																																																																																																						
試験杭	種類	杭径(mm)	板厚(mm)	杭長(mm)	継手数	セツト数	長期設計支持力(kN/本)	備考																																																																																																																															
上杭	中杭																																																																																																																																						
	下杭																																																																																																																																						
本杭	上杭																																																																																																																																						
	中杭																																																																																																																																						
	下杭																																																																																																																																						
<p>① 一般事項</p> <p>○ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ◎ 受注者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ◎ 施工体系図を現場に掲示すること。 ○ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況(地盤、擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。 ※工事に伴う環境調査要領 平成28年4月(東京都建設局編集)による ※調査に先立ち調査計画書を作成し監督職員の確認を受けること 調査範囲 ※ 図示</p> <p>② 適用基準等</p> <p>◎ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号) ◎ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱 ◎ 建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版) ◎ 営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和5年版)及び工事写真撮影ガイドブック<建築工事編及び解体工事編>(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和5年度版) ・ 建築構造設計基準(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和3年版)</p> <p>3. 概成工期 工事工期より 日前 (1.2.1)</p> <p>④ 工事実績情報(実績)の登録 ※ 適用する(請負精算額が500万円以上の場合) (1.1.4) 受注時、登録内容の変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後、配置技術者の変更後、変更契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 ・ 適用しない</p> <p>⑤ 発生材の処理等 発生材の処理 (1.3.11) ・ 引渡しを要するもの() ・ 特別管理産業廃棄物() 受入れ施設名・所在地(km) ・ 再生資源化を図るもの</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>受入施設名</th> <th>所在地(Km)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ セメント</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート塊</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ アスファルト</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ コンクリート塊</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 建設発生木材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 建設汚泥</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 現場において再利用を図るもの() ・ その他の廃棄物(安定型)() 受入れ施設名・所在地(km) ・ その他の廃棄物(管理型)() 受入れ施設名・所在地(km) 上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。 また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること。</p> <p>⑥ 電気保安技術者 ・ 適用する ※ 適用しない (1.3.3)</p>		種類	受入施設名	所在地(Km)	備考	・ セメント				・ コンクリート塊				・ アスファルト				・ コンクリート塊				・ 建設発生木材				・ 建設汚泥				<p>宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号 班 電話 022-211-326 () FAX 022-211-3190 宮城県土木部営繕課</p>		設計年月日	調査者氏名	設計者氏名	工事名称	全業	図面 No																																																																																																		
種類	受入施設名	所在地(Km)	備考																																																																																																																																				
・ セメント																																																																																																																																							
・ コンクリート塊																																																																																																																																							
・ アスファルト																																																																																																																																							
・ コンクリート塊																																																																																																																																							
・ 建設発生木材																																																																																																																																							
・ 建設汚泥																																																																																																																																							
図面名称							Scale	特記仕様書(1)																																																																																																																															

4 地 業 工 事	4. 場所打ちコンクリート杭地業	<p>工法 (4.5.1)(4.5.4)~(4.5.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アースドリル工法(安定液 ※使用する ・使用しない) ・リバース工法 ・オールケーシング工法(孔内の水張り ・行う ・行わない) <p>併用する工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 鋼管巻き材料 <ul style="list-style-type: none"> ・SKK400 ・SKK490 ・拡底杭工法(安定液 ・使用する ・使用しない) <p>寸法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による <p>孔壁測定 (4.5.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行う 測定方法、測定箇所は図示による ・行わない <p>材料その他 (4.5.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> 帯筋 ・図示による 鉄筋の最小かぶり厚さ ・図示による セメントの種類 <ul style="list-style-type: none"> ※高炉セメントB種 コンクリートの種別 <ul style="list-style-type: none"> ・A種 ・B種 ・評定等の評価内容による スランプ <ul style="list-style-type: none"> ・18cm ・21cm コンクリートの設計基準強度 ()N/mm² 構造体強度補正值(S) <ul style="list-style-type: none"> ・3N/mm² ・評定等の評価内容による 	5 鉄 筋 工 事	<p>① 鉄筋 (5.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">鉄筋の種類等</th> </tr> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※SD295</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※SD345</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>② 溶接金網 (5.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="4">鉄線の形状等</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>形状、網目寸法、径(mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> <tr> <td>・溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>③ 鉄筋の継手 (5.3.4)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="4">鉄筋の継手の方法等</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>継手の方法</th> <th>呼び径(mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td></td> <td>※ガス圧接 ・機械式継手</td> <td>※D19以上</td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td></td> <td>・溶接継手 ・重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋()</td> <td></td> <td>・重ね継手</td> <td>※D16以下</td> </tr> </table> <p>主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ ※図示による</p> <p>継手位置 ※図示による</p> <p>耐力壁の重ね継手の長さ ※図示による</p> <p>④ 鉄筋の定着 (5.3.4)</p> <p>鉄筋の定着長さ ※図示による</p>	鉄筋の種類等			種類の記号	呼び径(mm)	備考	※SD295			※SD345						鉄線の形状等				種類	種類の記号	形状、網目寸法、径(mm)	使用部位	・溶接金網				・鉄筋格子				鉄筋の継手の方法等				種類	種類の記号	継手の方法	呼び径(mm)	柱、梁の主筋		※ガス圧接 ・機械式継手	※D19以上	耐力壁の鉄筋		・溶接継手 ・重ね継手		その他の鉄筋()		・重ね継手	※D16以下	<p>⑤ 骨材 (6.3.1)</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分 ・A ・B</p> <p>6. 軽量コンクリート (6.10.2)(表6.10.1)</p> <p>種類 ・1種 ・2種</p> <p>⑦ 無筋コンクリート (6.14.1)</p> <p>適用箇所 ・標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・標準仕様書6.14.1(4)以外の箇所 ・図示による</p> <p>設計基準強度 ※18N/mm²</p> <p>スランプ ※15cm又は18cm</p> <p>8. 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)</p> <p>打継ぎの位置 ※標準仕様書6.6.4(1)による ・図示による</p> <p>目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(1)(ア)による ・図示による</p> <p>ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法 ・図示による</p> <p>9. 打増し厚さ(打放し仕上げ部) (6.8.1)</p> <p>・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm</p> <p>・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm</p> <p>⑩ 型枠 (6.8.2)</p> <p>せき板の材料及び厚さ (合板(※12mm) ・断熱材を兼用した型枠材 使用箇所 ※図示による ・MCR工法用シート 適用箇所 ※図示による 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 ※図示による スリーブの材質・規格等 ・図示による</p>	8. ターンバックル (7.2.6) <p>種類 建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト 建築用ターンバックル胴 ※割替式</p> <p>9. 床構造用のデッキプレート (7.2.7)(7.7.8)</p> <p>材質、形状及び寸法</p> <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>材質・形状・寸法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・デッキプレート 単独の構造</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・デッキプレートと コンクリートとの合 成スラブとする構造</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む) ・図示による</p> <p>鉄骨部材への溶接方法 ・図示による</p> <p>耐火認定 ・あり 耐火時間 ・図示による ・なし</p> <p>10. スタッド (7.2.8)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">種類等</th> </tr> <tr> <th>呼び名</th> <th>呼び長さ(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・22</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>11. 柱底均しモルタル (7.2.9)</p> <p>無収縮モルタルとする場合の材料、調合等 ※標準仕様書7.2.9(2)(ア)から(エ)による</p> <p>12. 仮組 (7.3.10)</p> <p>仮組を行う範囲 ※図示による</p> <p>13. 溶接技能者の技量付加試験 (7.6.3)</p> <p>試験の要領 ・図示による</p> <p>14. 溶接接合 (7.6.4)(7.6.7)</p> <p>開先の形状 ※図示による</p> <p>鋼製エンドタブを切断する部分 切断する箇所 ・図示による 切断範囲 スカラップの形状 ※図示による</p> <p>15. 溶接部の試験 (7.6.12)</p> <p>溶接部の外観試験</p> <p>平12建造第1464号第二号に関する試験方法等 ・「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査②</p> <p>JASS 6 付則6「鉄骨精度検査基準」の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS6 10.4 [受入検査] e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。 ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込み溶接部の試験は超音波探傷試験とし、下表による。</p> <table border="1"> <tr> <th>溶接の区分</th> <th>AOQL</th> <th>検査水準</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>工場溶接</td> <td>・レベルⅠ</td> <td>※レベルⅡ</td> <td>※6</td> </tr> </table> <p>16. 錆止め塗装 (7.8.2)(7.8.4)(18.3.2)</p> <p>塗料の範囲 (7.8.2)(7.8.4)(18.3.2)</p> <p>耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による</p> <p>耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※標準仕様書7.8.2(1)(ア)~(オ)による部分以外 ・図示による</p> <p>塗料の種別 ・下記以外の鉄鋼面は、18章[塗装工事]による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別 ※As種 ・耐火被覆材が接着する面の塗料の種別</p> <p>17. 耐火被覆 (7.9.2~8)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>材料・工法</th> <th>性能(耐火時間)</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・耐火材吹付け</td> <td>・乾式吹付けロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※半乾式吹付けロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・耐火板張り</td> <td>・繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・耐火材巻付け</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・断熱ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ラス張りモルタル塗り</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・耐火塗料</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>18. アンカーボルトの設置等 (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)</p> <p>構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ・図示による</p> <p>構造用アンカーボルトの保持及び埋込み ※適切な鋼製アンカーフレーム等を設置して固定する方法 ・図示による</p> <p>建方用アンカーボルトの形状及び寸法 ・図示による</p> <p>建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種別 ・A種 ・B種</p> <p>柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 厚さ 種別 ※A種 ・B種</p> <p>19. 軽量形鋼構造 (7.11.2)</p> <p>ボルトの接合部 ・普通ボルト接合</p>	適用箇所	材質・形状・寸法	備考	・デッキプレート 単独の構造			・デッキプレートと コンクリートとの合 成スラブとする構造			種類等			呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所	・16			・19			・22			溶接の区分	AOQL	検査水準	備考	工場溶接	・レベルⅠ	※レベルⅡ	※6	種 別	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール			※半乾式吹付けロックウール			・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板			・			・耐火材巻付け	・			・断熱ロックウール			・ラス張りモルタル塗り	・			・			・耐火塗料	・			・		
	鉄筋の種類等																																																																																																																															
種類の記号	呼び径(mm)	備考																																																																																																																														
※SD295																																																																																																																																
※SD345																																																																																																																																
鉄線の形状等																																																																																																																																
種類	種類の記号	形状、網目寸法、径(mm)	使用部位																																																																																																																													
・溶接金網																																																																																																																																
・鉄筋格子																																																																																																																																
鉄筋の継手の方法等																																																																																																																																
種類	種類の記号	継手の方法	呼び径(mm)																																																																																																																													
柱、梁の主筋		※ガス圧接 ・機械式継手	※D19以上																																																																																																																													
耐力壁の鉄筋		・溶接継手 ・重ね継手																																																																																																																														
その他の鉄筋()		・重ね継手	※D16以下																																																																																																																													
適用箇所	材質・形状・寸法	備考																																																																																																																														
・デッキプレート 単独の構造																																																																																																																																
・デッキプレートと コンクリートとの合 成スラブとする構造																																																																																																																																
種類等																																																																																																																																
呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所																																																																																																																														
・16																																																																																																																																
・19																																																																																																																																
・22																																																																																																																																
溶接の区分	AOQL	検査水準	備考																																																																																																																													
工場溶接	・レベルⅠ	※レベルⅡ	※6																																																																																																																													
種 別	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)																																																																																																																													
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール																																																																																																																															
	※半乾式吹付けロックウール																																																																																																																															
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板																																																																																																																															
	・																																																																																																																															
・耐火材巻付け	・																																																																																																																															
	・断熱ロックウール																																																																																																																															
・ラス張りモルタル塗り	・																																																																																																																															
	・																																																																																																																															
・耐火塗料	・																																																																																																																															
	・																																																																																																																															
5 地 業 工 事	5. 砂利地業 (4.6.2~3)	<p>材料 (4.6.2~3)</p> <p>砂利 ※再生クラッシュラン</p> <p>範囲 ・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下 ・図示による</p> <p>厚さ ※60mm</p>	6 鉄 骨 工 事	<p>⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む) (5.3.5)</p> <p>最小かぶり厚さ ※図示による</p> <p>軽量コンクリートを適用する場合 ・有り(※図示による) 適用箇所()</p> <p>耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等) ・有り(※図示による) 適用箇所()</p> <p>6. 特殊鉄筋継手 (5.5.1~5.5)</p> <p>・機械式継手 適用箇所 ※図示による</p> <p>性能(H12建造第1463号に適合するもの) ・A級</p> <p>機械式継手の種類() 鉄筋相互のあき ※図示による</p> <p>施工完了後の試験 ※図示による</p> <p>・溶接継手 (5.6.1~6.5)</p> <p>適用箇所 ※図示による</p> <p>性能(H12建造第1463号に適合するもの) ・A級</p> <p>機械式継手の種類() 鉄筋相互のあき ※図示による</p> <p>施工完了後の試験 ※図示による</p> <p>⑦ 各部配筋 (5.3.7)</p> <p>各部の配筋は、図示による。図示がなければ、標準仕様書 末尾資料の「各部配筋 参考図」による。</p> <p>⑧ 柱の帯筋 (参考図 図2.2)</p> <p>※ H形 ・ W-I形 ・ SP形</p> <p>⑨ 耐震壁を除く壁の開口部補強 (参考図 表4.3~4.4)</p> <p>・ A形 ※ B形</p> <p>⑩ はり貫通孔の補強 (参考図 表7.1~7.3)</p> <p>補強形式 ※H3形以上 ・M型 ・MH型</p> <p>⑪ 圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)</p> <p>外観試験 ※ 行う(全数)</p> <p>抜取試験 ※ 超音波探傷試験 ・引張試験</p>	<p>8. 地盤改良工法(深層混合処理工法) (4.7.2)(4.7.3)</p> <p>材料 固化材の種類</p> <p>工法 方式 ※機械攪拌方式 改良体の設計基準強度(Fc)、改良体長さ、改良率、改良体幅 ※図示による</p> <p>室内配合試験 対象地層、供試体数 ※図示による</p> <p>六価クロム溶出試験 ※行う ・行わない</p> <p>試験施工 ・行う(位置等は図示による) ・行わない</p> <p>改良工事完了後の試験 検査対象、コア採取方法、供試体数、検査方法 ※図示による</p> <p>六価クロム溶出試験 ・行う ・行わない</p> <p>8. 地盤改良工法(浅層混合処理工法) (4.8.2)(4.8.3)</p> <p>材料 固化材の種類</p> <p>工法 方式 ※原位置混合方式 改良体の設計基準強度(Fc)、改良体長さ、改良率、改良体幅 ※図示による</p> <p>室内配合試験 対象地層、供試体数 ※図示による</p> <p>六価クロム溶出試験 ※行う ・行わない</p> <p>改良工事完了後の試験 検査対象、コア採取方法、供試体数、検査方法 ※図示による</p> <p>六価クロム溶出試験 ・行う ・行わない</p> <p>9. 置換コンクリート地業(ラップルコンクリート地業)</p> <p>形状等 ・図示による</p> <p>支持地盤 ・図示による</p>																																																																																																																											
6 コ ン ク リ ー ト 工 事	<p>① コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)</p> <p>種 別 ※ I類 ・ II類</p> <p>② 設計基準強度 (6.2.2)</p> <p>普通コンクリート</p> <table border="1"> <tr> <th>Fc (N/mm²)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 24</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 21</td> <td></td> </tr> </table> <p>構造体強度補正值 ※標準仕様書表6.3.2による</p> <p>軽量コンクリート</p> <table border="1"> <tr> <th>Fc (N/mm²)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>構造体強度補正值 ※標準仕様書表6.3.2による</p> <p>③ スランプ (6.2.4)(表6.2.2)</p> <p>基礎、基礎梁、土間スラブ ※ 15cm ・ 18cm</p> <p>柱、梁、スラブ、壁 ※ 18cm</p> <p>④ セメントの種類 (6.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>セメントの種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シカセメントA種又はフライアッシュセメントA種</td> <td>建物躯体(下記以外)</td> </tr> <tr> <td>・高炉セメントB種</td> <td>基礎、地中梁</td> </tr> <tr> <td>・フライアッシュセメントB種</td> <td>基礎、地中梁</td> </tr> </table>	Fc (N/mm ²)	適用箇所	・ 24		・ 21		Fc (N/mm ²)	適用箇所			セメントの種類	適用箇所	※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シカセメントA種又はフライアッシュセメントA種	建物躯体(下記以外)	・高炉セメントB種	基礎、地中梁	・フライアッシュセメントB種	基礎、地中梁	<p>7. 鉄骨工事</p> <p>1. 鉄骨の製作工場 (7.1.3)</p> <p>※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場 ・ S ・ H ・ M ・ R ・ J ・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有し、監督職員の承諾する工場</p> <p>※ 施工監理技術者(※配置する ・配置しない) (7.1.4)</p> <p>2. 鋼材の種別 (7.2.1)(表7.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所</th> <th>規 格</th> </tr> <tr> <td>※図示による()</td> <td></td> <td>※JISによる</td> </tr> <tr> <td>※図示による()</td> <td></td> <td>※JISによる</td> </tr> <tr> <td>※図示による()</td> <td></td> <td>※JISによる</td> </tr> </table> <p>板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 ・行う(適用箇所は図示による) ・行わない</p> <p>3. 高力ボルト (7.2.2)</p> <p>高力ボルトの種類 ※トルシア形高力ボルト ・ J I S 形高力ボルト</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による</p> <p>すべり試験の実施 ・行う(試験方法等 ・図示による) ※行わない</p> <p>4. 普通ボルト (7.2.3)</p> <p>ボルト及びびんねットの材料 ・標準仕様書 表7.2.3による</p> <p>座金 ・標準仕様書7.2.3(4)による</p> <p>ボルトの径 ・図示による</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による</p> <p>5. 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.3)</p> <p>溶融亜鉛めっき高力ボルトの径 ・図示による</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による</p> <p>摩擦面の処理方法 ・プラスト処理(表面粗度50µmRz以上)</p> <p>すべり試験の実施 ・行う(試験方法等 ・図示による) ※行わない</p> <p>6. アンカーボルト (7.2.4)</p> <p>構造用アンカーボルト 種類 ・ABR400 ・ABR490</p> <p>建方用アンカーボルト 種類 ・SS400</p> <p>アンカーボルト及びびんねットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ・標準仕様書 表7.2.3による</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による</p> <p>7. 溶接材料 (7.2.5)</p> <p>溶接材料 ・標準仕様書7.2.5(1)(2)による</p>	種類の記号	適用箇所	規 格	※図示による()		※JISによる	※図示による()		※JISによる	※図示による()		※JISによる																																																																																																
Fc (N/mm ²)	適用箇所																																																																																																																															
・ 24																																																																																																																																
・ 21																																																																																																																																
Fc (N/mm ²)	適用箇所																																																																																																																															
セメントの種類	適用箇所																																																																																																																															
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シカセメントA種又はフライアッシュセメントA種	建物躯体(下記以外)																																																																																																																															
・高炉セメントB種	基礎、地中梁																																																																																																																															
・フライアッシュセメントB種	基礎、地中梁																																																																																																																															
種類の記号	適用箇所	規 格																																																																																																																														
※図示による()		※JISによる																																																																																																																														
※図示による()		※JISによる																																																																																																																														
※図示による()		※JISによる																																																																																																																														
<p>宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号 設計年月日</p> <p>電話 022-211-326 (調査者氏名</p> <p>FAX 022-211-3190 設計者氏名</p> <p>宮城県土木部営繕課 工事名称</p>		<p>図面名称</p> <p>S c a l e</p> <p>特記仕様書(2)</p>	<p>全業</p> <p>図面 No</p>																																																																																																																													

10 石工事	6. 床及び階段の石張り (10.6.2、3)	<p>浸透性吸収防水材 (床石張り) ・適用する ・適用しない</p> <p>石裏面処理 (床石張り) ・適用する ・適用しない</p> <p>階段張り) ・適用する ・適用しない</p> <p>裏打ち処理 (床石張り) ・適用する ・適用しない</p> <p>一般目地</p> <ul style="list-style-type: none"> 目地モルタル (目地幅) 既調合の目地モルタル (目地幅) シーリング材 (種類 ※標準仕様書表9.7.11による) <p>伸縮調整目地位置</p> <ul style="list-style-type: none"> ※標準仕様書10.6.2(5)(4)による 図示による <p>シーリング材の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ※標準仕様書表9.7.11による <p>目地寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> ※幅・深さとも10mm以上 図示による 	4. 有機系接着剤によるタイル張り (11.3.2~5)	<p>下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ※目荒し工法 (高圧水洗処理) MCR工法 <p>壁タイル張りの工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 内外装タイル 密着張り ※改良圧着張り <p>内装タイル以外のユニットタイル</p> <ul style="list-style-type: none"> ※マスク張り モザイクタイル張り <p>タイルの形状、寸法等 (11.3.2~5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>形状/寸法 (mm)</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐汚濁性</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>I類 II類 III類</td> <td>施す 施さず</td> <td>有 無</td> <td>標準 特注</td> <td>有 無</td> <td>有 無</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・</td> </tr> </tbody> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする。</p> <p>内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <ul style="list-style-type: none"> ※F☆☆☆☆ <p>下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ※目荒し工法 (高圧水洗処理) MCR工法 <p>目地のシーリング材</p> <ul style="list-style-type: none"> 打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材 <p>ひび割れ誘発目地</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ポリウレタン系シーリング材 <p>伸縮調整目地及びその他の目地</p> <ul style="list-style-type: none"> ※変成シリコン系シーリング材 <p>外装タイルの目地詰め</p> <ul style="list-style-type: none"> 行う ・行わない 	施工箇所	種類	形状/寸法 (mm)	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐汚濁性				I類 II類 III類	施す 施さず	有 無	標準 特注	有 無	有 無				・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・				・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	5. 造作用単板積層材 (12.2.1)	<p>・JAS 1152以外の造作用集成材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>材種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 1152以外の化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>材種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 0701 に基づく造作用単板積層材 (12.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無 (・1等・2等・3等)</td> <td>・有 (・天然木化粧加工・塗装加工)</td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無 (・1等・2等・3等)</td> <td>・有 (・天然木化粧加工・塗装加工)</td> <td>・適用する</td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 0701 以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・無 (・天然木化粧加工・塗装加工)</td> <td>※14%以下</td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・無 (・天然木化粧加工・塗装加工)</td> <td>※14%以下</td> <td>・適用する</td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 3079 に基づく直交集成板</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>強度等級 (曲げ性能)</th> <th>種別</th> <th>接着性能 (使用環境)</th> <th>寸法 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・異等級構成直交集成板</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・同一等級構成直交集成板</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 02331に基づく普通合板 (12.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>単板の樹種名</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※5.5</td> <td>※1類・2類</td> <td>広葉樹 ※2等以上</td> <td></td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>針葉樹 ※C-D以上</td> <td></td> <td>・適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 02331に基づく構造用合板</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>等級</th> <th>板面の品質</th> <th>曲げ強度 (強度等級)</th> <th>防虫処理</th> <th>単板の樹種名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※12</td> <td>・特類</td> <td>※1級</td> <td>※C-D以上</td> <td></td> <td>・適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2級以上</td> <td></td> <td></td> <td>・適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>※12</td> <td>・特類</td> <td>※1級</td> <td>※C-D以上</td> <td></td> <td>・適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2級以上</td> <td></td> <td></td> <td>・適用しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。</p> <p>・JAS 02331に基づく化粧ばり構造用合板</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・特類</td> <td>・1類</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・特類</td> <td>・1類</td> </tr> </tbody> </table> <p>屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。</p> <p>・JAS 02331に基づく天然木化粧合板</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>化粧板に使用する単板の樹種名</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1類・2類</td> <td></td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1類・2類</td> <td></td> <td>・適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1類・2類</td> <td></td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1類・2類</td> <td></td> <td>・適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 02331に基づく特殊加工化粧合板</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>表面性能</th> <th>単板の樹種名</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・F</td> <td></td> <td>・オーバーレイ</td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・FW</td> <td></td> <td>・プリント</td> <td>・適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・W</td> <td></td> <td>・塗装</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・SW</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率						※15%以下						※15%以下	施工箇所	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率		化粧薄板: 芯材:				※15%以下		化粧薄板: 芯材:				※15%以下	施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理				・無 (・1等・2等・3等)	・有 (・天然木化粧加工・塗装加工)	・適用する				・無 (・1等・2等・3等)	・有 (・天然木化粧加工・塗装加工)	・適用する	施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理			・無 (・天然木化粧加工・塗装加工)	※14%以下	・適用する			・無 (・天然木化粧加工・塗装加工)	※14%以下	・適用する	施工箇所	品名	樹種名	強度等級 (曲げ性能)	種別	接着性能 (使用環境)	寸法 (mm)		・異等級構成直交集成板							・同一等級構成直交集成板						施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	板面の品質	単板の樹種名	防虫処理		※5.5	※1類・2類	広葉樹 ※2等以上		・適用する				針葉樹 ※C-D以上		・適用しない	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ強度 (強度等級)	防虫処理	単板の樹種名		※12	・特類	※1級	※C-D以上		・適用する					※2級以上			・適用しない			※12	・特類	※1級	※C-D以上		・適用する					※2級以上			・適用しない		施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理				・特類	・1類				・特類	・1類	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理			・1類・2類		・適用する			・1類・2類		・適用しない			・1類・2類		・適用する			・1類・2類		・適用しない	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理				・F		・オーバーレイ	・適用する				・FW		・プリント	・適用しない				・W		・塗装					・SW				7. 接合具等 (12.2.2、3)	<p>・JIS A 5908に基づくパーティクルボード</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※13タイプ</td> <td>※P又はM</td> <td>※15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※13タイプ</td> <td>※P又はM</td> <td>※15</td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 0360に基づく構造用パネル</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>曲げ性能 (等級)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・常態曲げ試験</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・湿潤曲げ試験</td> </tr> </tbody> </table> <p>・JIS A 5905に基づくMDF</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>造作材の化粧面の釘打ち (12.2.2、3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※隠し釘打ち 釘頭埋め木 つぶし頭釘打ち 釘頭現し <p>諸金物の形状、寸法及び材質</p> <ul style="list-style-type: none"> ※かすがい ※標準仕様書表12.2.3に示す程度の市販品 座金 ※標準仕様書表12.2.4に示す程度の市販品 箱金物及び短冊金物 ※標準仕様書表12.2.5に示す程度の市販品 <p>接着剤</p> <ul style="list-style-type: none"> 接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ 	施工箇所	種類	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ (mm)				※13タイプ	※P又はM	※15				※13タイプ	※P又はM	※15	施工箇所	寸法 (mm)	曲げ性能 (等級)			・常態曲げ試験			・湿潤曲げ試験	施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)							8. 防腐・防蟻処理 (12.3.1、2)	<p>・工場における薬剤の加圧注入等</p> <ul style="list-style-type: none"> ※標準仕様書12.3.1(7)(a)による加圧注入 <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用部材</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・K2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・K3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・K3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・K4</td> </tr> </tbody> </table> <p>・標準仕様書12.3.1(7)(b)による加圧式保存処理</p> <ul style="list-style-type: none"> 保存処理の性能 () インサイジング ・適用する ・適用しない <p>・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理</p> <p>薬剤の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ※標準仕様書12.3.1(4)(a)による 付属書A (規定) に基づく表面処理用木材保存剤による <p>適用部材 (部位)</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>処理方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ※標準仕様書12.3.1(4)(b)による <p>・薬剤の接着材への混入による防腐・防蟻処理</p> <p>適用部材 (部位)</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による 	適用部材	保存処理性能区分		・K2		・K3		・K4		・K2		・K3		・K4	9. 不燃処理木材等 (12.4.1)	<p>・不燃材料</p> <ul style="list-style-type: none"> 適用部材 (部位) 図示による <p>準不燃材料</p> <ul style="list-style-type: none"> 適用部材 (部位) 図示による <p>難燃材料</p> <ul style="list-style-type: none"> 適用部材 (部位) 図示による 	10. 内部間仕切軸組及び床組み (12.4.1)	<p>・間仕切軸組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※杉又は松 <p>・床組みに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※杉又は松 <p>・土間スラブの類の場合の土台、転ばし大引き及び転ばし根太</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ひのき又は保存処理木材 	11. 窓、出入口その他 (12.5.1)	<p>・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※吊元梓、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉 	12. 床板張り (12.6.1)	<p>・縁甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ひのき 	13. 壁及び天井下地 (12.7.1)	<p>・壁間縁、野縁受木、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※杉又は松
	施工箇所	種類		形状/寸法 (mm)	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐汚濁性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			I類 II類 III類	施す 施さず	有 無	標準 特注	有 無	有 無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
					※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
					※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	化粧薄板: 芯材:				※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	化粧薄板: 芯材:				※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			・無 (・1等・2等・3等)	・有 (・天然木化粧加工・塗装加工)	・適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			・無 (・1等・2等・3等)	・有 (・天然木化粧加工・塗装加工)	・適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		・無 (・天然木化粧加工・塗装加工)	※14%以下	・適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		・無 (・天然木化粧加工・塗装加工)	※14%以下	・適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	品名	樹種名	強度等級 (曲げ性能)	種別	接着性能 (使用環境)	寸法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	・異等級構成直交集成板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・同一等級構成直交集成板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	板面の品質	単板の樹種名	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	※5.5	※1類・2類	広葉樹 ※2等以上		・適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			針葉樹 ※C-D以上		・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ強度 (強度等級)	防虫処理	単板の樹種名																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	※12	・特類	※1級	※C-D以上		・適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			※2級以上			・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	※12	・特類	※1級	※C-D以上		・適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			※2級以上			・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			・特類	・1類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			・特類	・1類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		・1類・2類		・適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		・1類・2類		・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		・1類・2類		・適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		・1類・2類		・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			・F		・オーバーレイ	・適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			・FW		・プリント	・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			・W		・塗装																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			・SW																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	種類	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			※13タイプ	※P又はM	※15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			※13タイプ	※P又はM	※15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	寸法 (mm)	曲げ性能 (等級)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		・常態曲げ試験																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		・湿潤曲げ試験																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
適用部材	保存処理性能区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・K2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・K3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・K4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・K2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・K3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・K4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
7. 笠木、甲板等の石張り (10.2.2) (10.7.2)	<p>取付け工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 湿式工法 乾式工法 <p>特殊部位用金物</p> <p>材質</p> <ul style="list-style-type: none"> ※SUS304 <p>寸法等</p> <ul style="list-style-type: none"> 引金物 ※標準仕様書表10.2.2(3)による <p>だぼ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※標準仕様書表10.2.2(3)による <p>かすがい</p> <ul style="list-style-type: none"> ※標準仕様書表10.2.2(3)による <p>受金物</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等</p> <p>ファスナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ※標準仕様書表10.2.4に準ずる (方式: ・スライド方式 ・ロッキング方式) 図示による <p>あと施工アンカーの材質、寸法</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> 材質 寸法 <p>石裏面処理</p> <ul style="list-style-type: none"> 適用する ・適用しない <p>乾式工法の場合の取付け代</p> <ul style="list-style-type: none"> ※70mm程度 <p>石材の表面の補強用モルタル</p> <ul style="list-style-type: none"> 適用する ・適用しない <p>一般目地</p> <ul style="list-style-type: none"> 目地モルタル (目地幅) 既調合の目地モルタル (目地幅) シーリング材 (種類 ※標準仕様書表9.7.11による) <p>伸縮調整目地位置</p> <ul style="list-style-type: none"> ※標準仕様書10.6.2(5)(4)による 図示による <p>シーリング材の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ※標準仕様書表9.7.11による <p>目地寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による 	12. 木工事	<p>1. 表面仕上げ (12.1.4)</p> <p>見え掛り面の表面仕上げの程度</p> <ul style="list-style-type: none"> ※プレーナー加工仕上げ 適用部位 (部位) () ※調自動機かん 適用部位 (部位) () ※サンダー 適用部位 (部位) () <p>2. 施工一般 (12.2.1)</p> <p>材料のホルムアルデヒド放散量</p> <ul style="list-style-type: none"> ※F☆☆☆☆又は標準仕様書12.2.1(1)(9)(b)による <p>3. 製材 (12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種名</th> <th>等級 (材面の品質)</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td>※A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td>※A種</td> <td>・B種</td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 1083-2に基づく造作用製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種名</th> <th>等級 (材面の品質)</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※上小節</td> <td></td> <td>※A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※小節以上</td> <td></td> <td>※A種</td> <td>・B種</td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 1083-6に基づく広葉樹製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種名</th> <th>等級 (材面の品質)</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td></td> <td>※10%以下</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td></td> <td>※10%以下</td> <td>・A種</td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 1083 (製材) 以外の製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>()</td> <td>・適用する</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>()</td> <td>・適用しない</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>()</td> <td>・適用する</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>()</td> <td>・適用しない</td> <td>※A種</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 造作用集成材 (12.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>見付け材面</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等・2等</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等・2等</td> </tr> </tbody> </table> <p>・JAS 1152に基づく化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>材種名</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等・2等</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等・2等</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理			※2級		※A種	・B種			※2級		※A種	・B種	施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理			※上小節		※A種	・B種			※小節以上		※A種	・B種	施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理			※1等		※10%以下	・A種			※1等		※10%以下	・A種	施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理の適用	含水率			()	・適用する	※A種			()	・適用しない	※A種			()	・適用する	※A種			()	・適用しない	※A種	施工箇所	品名	樹種名	見付け材面	寸法 (mm)	見付け材面の品質						※1等・2等						※1等・2等	施工箇所	品名	材種名	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	寸法 (mm)	見付け材面の品質			化粧薄板: 芯材:				※1等・2等			化粧薄板: 芯材:				※1等・2等	11 タイル工事	<p>1. 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3) (表11.1.1)</p> <p>位置</p> <ul style="list-style-type: none"> ※標準仕様書表11.1.1による 図示による <p>目地寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>2. 見本焼き試験施工 (11.1.4)</p> <p>見本焼き</p> <ul style="list-style-type: none"> 行う (施工箇所:) ※行わない 試験張り 行う (範囲、仕様等は図示による) ※行わない <p>3. セメントモルタルによるタイル張り (11.2.2、6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>形状/寸法 (mm)</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐汚濁性</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>I類 II類 III類</td> <td>施す 施さず</td> <td>有 無</td> <td>標準 特注</td> <td>有 無</td> <td>有 無</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・</td> <td>・ ・ ・</td> </tr> </tbody> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする。</p> <p>既調合モルタル</p> <p>モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。</p> <p>既調合目地材</p>	施工箇所	種類	形状/寸法 (mm)	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐汚濁性				I類 II類 III類	施す 施さず	有 無	標準 特注	有 無	有 無				・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・				・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	設計年月日	調査者氏名	設計者氏名	工事名称	全業	図面 No																																																																																																																																																																							
施工箇所	樹種名		等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		※2級		※A種	・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		※2級		※A種	・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		※上小節		※A種	・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		※小節以上		※A種	・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		※1等		※10%以下	・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		※1等		※10%以下	・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理の適用	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		()	・適用する	※A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		()	・適用しない	※A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		()	・適用する	※A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		()	・適用しない	※A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	品名	樹種名	見付け材面	寸法 (mm)	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
					※1等・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
					※1等・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	品名	材種名	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	寸法 (mm)	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		化粧薄板: 芯材:				※1等・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		化粧薄板: 芯材:				※1等・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	種類	形状/寸法 (mm)	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐汚濁性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			I類 II類 III類	施す 施さず	有 無	標準 特注	有 無	有 無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号 電話 022-211-326 (8 班) FAX 022-211-3190 宮城県土木部営繕課	図面名称	Scale	特記仕様書(4)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

13 屋根及び 1. 長尺金属板葺 (13.2.2、3)	<p>施工箇所 板及びコイルの種類 塗膜の耐久性の種類、めっき付着量 厚さ(mm) 屋根葺形式 備考</p> <p>※JIS G 3322 の屋根用 (着色 ・有) ・5類 (AZ150) ※0.4 ・0.5 ※心木なし瓦葺葺・立平葺・蟻掛葺・横葺</p> <p>下葺材料 ・アスファルトルーフィング 940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 (一般タイプ ・複層基材タイプ ・粘着層付タイプ) 横葺きの場合のならば納め ・つかみ込み納め ・ければ包み納め 雪止め ・設置する (形状及び施工箇所 ・図示による) ・設置しない</p>						4. とい <p>とその他の材種 (13.5.2、3) (表13.5.4)</p> <p>・配管用鋼管 材種 () ・硬質ポリ塩化ビニル管 材種 () ・ルーフトレン ・表面処理鋼板</p> <p>と受金物 材種 ※標準仕様書表13.5.2による (溶融亜鉛めっきを行ったもの)</p> <p>形状 ※市販品 (と径 100 以下) ・25×4.5(mm)以上 (と径 100 を超えるもの)</p> <p>取付け間隔 ※標準仕様書表13.5.2による</p> <p>足金物 材種 ※標準仕様書表13.5.2による (溶融亜鉛めっきを行ったもの)</p> <p>形状 ※市販品 取付け間隔 ※標準仕様書表13.5.2による</p> <p>多雪地域 ・適用する ・適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 鋼管製と防露巻き ※標準仕様書表13.5.4による</p> <p>ルーフトレンの種類及び呼び</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>呼び</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ろく屋根用たて形I型</td> <td>※ねじ込み式 ・80 ・125 ・150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ろく屋根用横形I型</td> <td>※ねじ込み式 ・80 ・125 ・150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td>※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー用</td> <td>・差し込み式 ・50 ・75 ・100 ・ねじ込み式 ・50 ・80 ・100 ・差し込み式 ・50 ・75 ・100</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	呼び	施工箇所	※ろく屋根用たて形I型	※ねじ込み式 ・80 ・125 ・150		・ろく屋根用横形I型	※ねじ込み式 ・80 ・125 ・150		・バルコニー中継用	※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100		・バルコニー用	・差し込み式 ・50 ・75 ・100 ・ねじ込み式 ・50 ・80 ・100 ・差し込み式 ・50 ・75 ・100		4. 軽量鉄骨壁 下地 <p>スタッド、ランナの種類 ※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示による</p> <p>スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示による 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※標準仕様書14.5.4.(5)による</p>	<p>仕上塗材の種類 ・薄付け仕上塗材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>吸放湿性</th> <th>防火材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外装薄塗材Si</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状 ・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>・吹付け ・ローラー塗り</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装塗材Si</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状 ・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>・吹付け ・ローラー塗り</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・着色骨材砂壁状</td> <td>・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り ・吹付け ・こて塗り</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装塗材E</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り ・吹付け ・こて塗り</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材E</td> <td>・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状</td> <td>・ローラー塗り ・吹付け</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材S</td> <td>・砂壁状 ・凹凸状</td> <td>・吹付け</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材C ・内装薄塗材L</td> <td>・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>・こて塗り ・ローラー塗り</td> <td>・適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E</td> <td>・砂壁状じゅらく ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状</td> <td>・吹付け ・こて塗り</td> <td>・適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材W</td> <td>・京壁状じゅらく ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状</td> <td>・吹付け ・こて塗り</td> <td>・適用する</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料	・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り			・可とう形外装塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り			・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・着色骨材砂壁状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り ・吹付け ・こて塗り			・可とう形外装塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り ・吹付け ・こて塗り			・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状	・ローラー塗り ・吹付け			・外装薄塗材S	・砂壁状 ・凹凸状	・吹付け			・内装薄塗材C ・内装薄塗材L	・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する		・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E	・砂壁状じゅらく ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状	・吹付け ・こて塗り	・適用する		・内装薄塗材W	・京壁状じゅらく ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状	・吹付け ・こて塗り	・適用する	
	種別	呼び	施工箇所																																																																							
	※ろく屋根用たて形I型	※ねじ込み式 ・80 ・125 ・150																																																																								
・ろく屋根用横形I型	※ねじ込み式 ・80 ・125 ・150																																																																									
・バルコニー中継用	※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100																																																																									
・バルコニー用	・差し込み式 ・50 ・75 ・100 ・ねじ込み式 ・50 ・80 ・100 ・差し込み式 ・50 ・75 ・100																																																																									
種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料																																																																						
・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り																																																																								
・可とう形外装塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・ローラー塗り																																																																								
・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・着色骨材砂壁状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り ・吹付け ・こて塗り																																																																								
・可とう形外装塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り ・吹付け ・こて塗り																																																																								
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状	・ローラー塗り ・吹付け																																																																								
・外装薄塗材S	・砂壁状 ・凹凸状	・吹付け																																																																								
・内装薄塗材C ・内装薄塗材L	・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する																																																																							
・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E	・砂壁状じゅらく ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状	・吹付け ・こて塗り	・適用する																																																																							
・内装薄塗材W	・京壁状じゅらく ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状	・吹付け ・こて塗り	・適用する																																																																							
2. 折板葺 (13.2.2) (13.3.2) (表13.2.1)	<p>施工箇所 形式 山高、山ピッチによる区分 山高、山ピッチ 耐力による区分 材料による区分 厚さ(mm) 軒先面戸板 耐火性能</p> <p>・重ね形 ・はげ締め形 ・かな合形</p> <p>材料 折板の材質の種類 (※JIS G 3302の屋根用 (着色 ・有)) 塗膜の耐久性の種類、めっき付着量 (5類 (AZ150)) 断熱材張り ・行う (断熱材の種類: 厚さ(mm): 耐火性能:) ・行わない 耐雪性能に対応した工法の適用 ・適用する ・適用しない 折板のければ納め ※ければ包みによる方法 雪止め ・設置する (形状及び施工箇所 ・図示による) ・設置しない</p>						5. 金属成形板張り (14.6.2、3) (表14.2.1)	6. アルミニウム製笠木 <p>種類 ・250形 ・300形 ・350形</p> <p>笠木本体 ・押出形材 表面処理 種別 () 種 色合等 ・標準色 () ・特注色 ()</p>	<p>1. モルタル塗り モルタル ・現場調合材料 ・既調合材料 既製目地材 ・設ける 施工箇所 () 形状 (※図示による) ・設けない 床の目地 ・設ける 目地割り ※2m程度 (最大目地間隔3m程度) ・目地の種類 ※押し目地 ・設けない 屋外のタイル張り下地及び屋内の吹抜け部分等のタイル張りの下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ・適用する ・適用しない</p>																																																																	
3. 粘土瓦葺 (13.4.2、3)	<p>施工箇所 種類 製法による区分 形状による区分 寸法による区分 産地 役物瓦の種類 雪止め瓦</p> <p>瓦葺の防災瓦の使用 ・適用する ・適用しない JISA5208に基づく凍害試験等 ・行う ・行わない 瓦葺木 材質 ※杉 寸法 ※幅21×高さ15(mm)以上 棟補強用心材 材質 ※杉 寸法 ※幅40×高さ30(mm) 瓦緊結用釘及びねじ 種類 () 径 () 長さ () 棟補強等に使用する金物等 材質 ・ステンレス製 ・溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製 形状、寸法及び留付け方法 ※図示による 風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法等 ※図示による 瓦葺木の留付け工法 ※図示による 棟の工法 ・7寸丸伏せ棟又はF形用冠伏せ棟 ・のし積み棟 面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合 ・モルタル ・瓦葺き用しっくい</p>									14 金属工事 <p>1. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1) (表 14.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>色合い等</th> <th>施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・AB-1種</td> <td rowspan="2">・標準色 ・特注色</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AB-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AC-1種</td> <td rowspan="2">・標準色 ・特注色</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・AC-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BA-1種</td> <td rowspan="2">・標準色 ・特注色</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BA-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BB-1種</td> <td rowspan="2">・標準色 ・特注色</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BB-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BC-1種</td> <td rowspan="2">・標準色 ・特注色</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・BC-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>・標準色 ・特注色</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ・三次電解着色</p> <p>表面処理方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所 (手すり、タラップ以外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">・溶融亜鉛めっき</td> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・E種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・F種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・電気亜鉛めっき</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	色合い等	施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)	・AB-1種	・標準色 ・特注色		・AB-2種		・AC-1種	・標準色 ・特注色		・AC-2種		・BA-1種	・標準色 ・特注色		・BA-2種		・BB-1種	・標準色 ・特注色		・BB-2種		・BC-1種	・標準色 ・特注色		・BC-2種		・C種	・標準色 ・特注色		表面処理方法	種別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)	・溶融亜鉛めっき	・A種		・B種		・C種		・D種		・E種		・F種		・電気亜鉛めっき			15 左官工事 <p>2. ラス系下地 (15.2.4)</p> <p>ラス系下地 ・二層下地通気構法 ・単層下地通気構法 換気口部の措置 (※公共土木建築工事標準仕様書11.4.3.(2)(カ)) ・直張りラスモルタル下地 ・直張りラスシートモルタル下地 ラスの材料 記号 ()、種類 () 単位面積当たりの質量 () ラスシートの材料 ラス目による区分 (※M) 山高、山ピッチ、質量及び溶接区分による区分 (・LS4(建築基準法に基づく耐力壁)) ステーブルの形状及び寸法 () 直張りラスシートモルタル下地が建築基準法に基づく耐力壁のラスシートの施工</p> <p>3. せっこうボード その他のボード下地 (15.2.5)</p> <p>せっこうボード (GB-R) 及びせっこうラスボード (GB-L) の種類及び厚さ 種類 (・GB-R ・GB-L) 厚さ (mm) 木質系セメント板の種類及び厚さ 種類 () 厚さ (mm)</p> <p>4. こま下地 (15.2.6)</p> <p>建築基準法に基づく耐力壁の指定 (・あり ・なし)</p> <p>5. 木ずり下地 (15.2.7)</p> <p>木ずり用小幅板の種類 (※杉(心去り材))</p> <p>6. 仕上塗材 仕上げ (15.6.2)</p> <p>内装仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p>													
種類	色合い等	施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)																																																																								
・AB-1種	・標準色 ・特注色																																																																									
・AB-2種																																																																										
・AC-1種	・標準色 ・特注色																																																																									
・AC-2種																																																																										
・BA-1種	・標準色 ・特注色																																																																									
・BA-2種																																																																										
・BB-1種	・標準色 ・特注色																																																																									
・BB-2種																																																																										
・BC-1種	・標準色 ・特注色																																																																									
・BC-2種																																																																										
・C種	・標準色 ・特注色																																																																									
表面処理方法	種別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)																																																																								
・溶融亜鉛めっき	・A種																																																																									
	・B種																																																																									
	・C種																																																																									
	・D種																																																																									
	・E種																																																																									
	・F種																																																																									
・電気亜鉛めっき																																																																										
2. 鉄鋼の垂鉛めっき (14.2.2) (表 14.2.2)	<p>2. 鉄鋼の垂鉛めっき (14.2.2) (表 14.2.2)</p>						<p>・厚付け仕上塗材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>吸放湿性</th> <th>上塗り</th> <th>防火材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・外装厚塗材C</td> <td>・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし</td> <td>・吹付け ・こて塗り</td> <td></td> <td>・適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E</td> <td>・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし</td> <td>・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り</td> <td></td> <td>・適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材C</td> <td>・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし</td> <td>・吹付け ・こて塗り</td> <td></td> <td>・適用する ・適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材L</td> <td>・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし</td> <td>・こて塗り</td> <td></td> <td>・適用する ・適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材G</td> <td>・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし</td> <td>・こて塗り</td> <td></td> <td>・適用する ・適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材Si ・内装厚塗材E</td> <td>・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし</td> <td>・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り</td> <td></td> <td>・適用する ・適用する</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・複層仕上塗材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗材の種類</th> <th>耐候性</th> <th>防火材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・複層塗材CE ・複層塗材RE ・複層塗材Si ※複層塗材E</td> <td>・凸部処理 ・凹凸状 ※ゆず肌状</td> <td>・吹付け ※ローラー塗り</td> <td>樹脂 ・外観 ・溶媒</td> <td>・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材CE</td> <td>・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状</td> <td>・吹付け ・ローラー塗り</td> <td>樹脂 ・外観 ・溶媒</td> <td>・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材E</td> <td>・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状</td> <td>・吹付け ・ローラー塗り</td> <td>樹脂 ・外観 ・溶媒</td> <td>・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	吸放湿性	上塗り	防火材料	・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・こて塗り		・適用する		・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り		・適用する		・内装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・こて塗り		・適用する ・適用する		・内装厚塗材L	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り		・適用する ・適用する		・内装厚塗材G	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り		・適用する ・適用する		・内装厚塗材Si ・内装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り		・適用する ・適用する		種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料	・複層塗材CE ・複層塗材RE ・複層塗材Si ※複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状 ※ゆず肌状	・吹付け ※ローラー塗り	樹脂 ・外観 ・溶媒	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種		・可とう形複層塗材CE	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー塗り	樹脂 ・外観 ・溶媒	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種		・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー塗り	樹脂 ・外観 ・溶媒	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種		
種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	吸放湿性	上塗り	防火材料																																																																					
・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・こて塗り		・適用する																																																																						
・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り		・適用する																																																																						
・内装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・こて塗り		・適用する ・適用する																																																																						
・内装厚塗材L	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り		・適用する ・適用する																																																																						
・内装厚塗材G	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り		・適用する ・適用する																																																																						
・内装厚塗材Si ・内装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・吹付け ・こて塗り ・ローラー塗り		・適用する ・適用する																																																																						
種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料																																																																					
・複層塗材CE ・複層塗材RE ・複層塗材Si ※複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状 ※ゆず肌状	・吹付け ※ローラー塗り	樹脂 ・外観 ・溶媒	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種																																																																						
・可とう形複層塗材CE	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー塗り	樹脂 ・外観 ・溶媒	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種																																																																						
・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー塗り	樹脂 ・外観 ・溶媒	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種																																																																						
宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号 電話 022-211-326 () FAX 022-211-3190 宮城県土木部管轄課	設計年月日	調査者氏名	設計者氏名	工事名称	全業	図面 No																																																																				
				図面名称	Scale																																																																					
					特記仕様書(5)																																																																					

15 左 工 事	7. マスチック 塗材塗り	標準仕様書15.7.2による (15.7.2)	4. アルミニウム 製建具 性能値等 (16.2.2、4、5) (表14.2.1) (表16.2.1、2) 耐風圧性の等級 () (建具符号 ・ 建具表による) 気密性の等級 () (建具符号 ・ 建具表による) 水密性の等級 () (建具符号 ・ 建具表による) 外部に面する建具の種別 ・A種 (建具符号 ・ 建具表による) ・B種 (建具符号 ・ 建具表による) ・C種 (建具符号 ・ 建具表による) ・D種 (建具符号 ・ 建具表による) ・E種 (建具符号 ・ 建具表による) 枠の見込み寸法 (※建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号 ・ 建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号 ・ 建具表による) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種別 (標準仕様書14.2.1) ※BB-1種 ・ BB-2種 (着色 : ※標準色 ・ 特注色) 屋内の建具 種別 (標準仕様書14.2.1) ※BC-1種 ・ BC-2種 (着色 : ※標準色 ・ 特注色) 結露水の処理方法 ・水貯め式 ・ 排水式 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による 木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する	8. 鋼製軽量建具 性能値等 (16.2.2) (16.5.2~4) (16.5.6) (表16.5.1) 簡易気密型ドアセット ※適用する (建具符号 ・ 建具表による) ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号 ・ 建具表による) 防音性能を求める戸 (建具表による) 防音充填材 (グラスウール又はロックウール) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号 ・ 建具表による) 材料 鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ 召合わせ、縦小口包み板の性質 ※鋼板 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ (mm) ※標準仕様書16.5.1による ・ 使用箇所 () 標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 ※建具表による 材料 (16.2.2) (16.4.2) (16.6.2~5) ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※HL ・ 鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ (b角 (切込み後の残り板厚0.75mm、裏板補強あり)) ・角出し曲げ (c角 (切込み後の残り板厚1.0mm))	11. 建具用金物 金物の種類及び見え掛り部の材質等 (16.8.2、3) (表16.8.1~5) ・ ※標準仕様書16.8.1により適用は建具表による ・ 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※標準仕様書16.8.2による ・建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※標準仕様書16.8.3による ・建具表による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※標準仕様書16.8.4による ・建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール ※標準仕様書16.8.5による ・建具表による 握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ・建具表による
	8. しっくい塗り	しっくい (15.10.2~4) 既調合材料 色しっくい ・ 適用する ・ 適用しない 現場調合材料 下地 ・せっこうボード ・ せっこうラスボード ・ モルタル塗り ・ 木ずり ・こまい ・ 下塗りをせっこうプラスターとし上塗りに使用する場合 既調合しっくいの調合 ・せっこうボード下地 ※標準仕様書15.10.1 ・モルタル塗り下地 ※標準仕様書15.10.2 ・せっこうラスボード下地 ※製造所の仕様による 現場調合しっくいの調合及び各層の塗厚 ※標準仕様書15.10.3 ・木ずり下地 ・せっこうプラスター下地、こまい下地 ※標準仕様書15.10.4 既調合しっくいの上塗り仕上げ工法 ・押え仕上げ ・ なで切り仕上 ・ パターン仕上げ			
9. こまい壁塗り	のり (15.11.2~5、7、8) ・土壁用ののり ※つもの ・ふのり ・ぎんなんそう ・粉末海藻 ・ ・砂壁用ののり ※ふのり ・つもの ・こんにやくのり ・にかわ ・合成高分子系混和剤 色土 ・土物仕上げに用いる色土の種類 () ・大津仕上げに用いる色土の種類 () 色砂の種類 ・天然砂と岩石の砕砂 ・人工的に着色・製造したもの 下塗りの調合 ※標準仕様書15.11.2 塗厚 ※標準仕様書15.11.8による ・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合 () こまい壁の工程 ※A種 ・ B種 こまい壁塗りの上塗りとする土物仕上げの工法の種類 ・土物仕上げ工法 ・水ごね土物1工法 ・水ごね土物2工法 ・のりさし土物工法 ・のりごね土物工法 ・砂壁仕上げ工法 ・切返し仕上げ工法 こまい壁塗りの上塗りとする大津仕上げの工法の種類 ・普通大津仕上げ工法 ・大津みがき仕上げ工法 ちりじゅり ・図示による	6. 樹脂製建具 性能値等 (16.2.5) (16.3.2~5) (表16.3.1~3) 耐風圧性の等級 () 気密性の等級 () 水密性の等級 () 外部に面する建具の種別 ・A種 (建具符号 ・ 建具表による) ・B種 (建具符号 ・ 建具表による) ・C種 (建具符号 ・ 建具表による) ・D種 (建具符号 ・ 建具表による) ・E種 (建具符号 ・ 建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・ T-1 ・ T-2) (建具符号 ・ 建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8) (建具符号 ・ 建具表による) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 枠の見込み寸法 ※建具表による 材料 ガラス ※複層ガラス (組合せは建具表による) ・ ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 表面色 ・ 標準色 ・ 特注色 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による 木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する	10. 木製建具 建具材の加工、組立時の含水率 (16.7.2~4) ※A種 建物内部の木製建具に使用する表面材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※標準仕様書16.7.2(2) (4) (a) による 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 備考 ・普通合板 表面の樹種 () 板面の品質 (※広葉樹1等) 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) ・天然木 化粧合板 樹種名 () 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) ・特殊加工 化粧合板 化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) ・MDF 普通MDF ・素地MDF 記号 () ・化粧MDF 記号 () ・曲げ強さによる区分 () ・耐水性による区分 ()	13. 自動ドア開 閉装置 (16.9.2、3) 戸の開閉方式 ・建具表による ・引き戸用駆動装置 性能値 ※標準仕様書16.9.1 (防錆 ・ 適用する ・ 適用しない) ・以下による 種類・開閉方式 () 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 () ・車椅子使用者用便房出入り口引き戸用駆動装置 性能値 ※標準仕様書16.9.2 (防錆 ・ 適用する ・ 適用しない) ・以下による 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 () ・引き戸用検出装置 性能値 ※標準仕様書16.9.3 (防錆 ・ 適用する ・ 適用しない) ・以下による 耐電圧 () 防錆 () 防滴 () 電源 () 引き戸用検出装置の種類 (標準仕様書16.9.4) ・建具表による タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ ・ 光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便房用操作スイッチの種類 ・大形押しボタンスイッチ ・ 非接触スイッチ 凍結防止措置 ・行う ※行わない	14. 自閉式上吊 り引戸装置 (16.10.3) (表16.10.1) 性能値等 ※標準仕様書16.10.1 ・以下による 手動開き力 () 手動閉じ力 () 閉じ速度の調整 () 制動区間 () 閉閉繰返し () 耐衝撃性 ()
	10. ロックウール 吹付け	ロックウールのホルムアルデヒド放散量 (15.12.2、3) ※F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 仕上げ吹付け厚さ ※図示による ・25mm	7. 鋼製建具 性能値等 (16.2.2) (16.4.2~4) (16.4.6) (表16.4.2) 簡易気密型ドアセット ※適用する (建具符号 ・ 建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (建具符号 ・ 建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号 ・ 建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号 ・ 建具表による) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※標準仕様書16.4.2による ・使用箇所 () 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による	15. 重量シャッター (16.11.2、3) シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 () pa 開閉方式の種類 ※電動式 (手動併用) ・ 手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 (設置箇所 ・ 建具表による) 電動式シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・ 建具表による) 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 (設置箇所 ・ 建具表による) 管理用シャッターのシャッターケース ※設ける ・ 設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ※JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・ ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1	

16 建具工事	16. 軽量シャッター 開閉方式の種類 (16.12.2~4) ※手動式 (手動併用) ・電動式 (手動併用) 耐風圧強度 () pa 安全装置 ・急降下停止装置 (設置場所 ・ 建具表による) ※障害物感知装置 (設置場所 ・ 建具表による) スラットの材質の種類 ※JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※Z06又はF06) ・ JIS G 3322 (塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※AZ90) スラットの形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形	19. ガラス ブロック積み (16.14.5) 呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 色調 目地幅 (mm) 伸縮調整目地位置 (mm) 防火性能 ・ 160×160 ・ 95 ・ 200×200 ・ 95 壁用金属枠及び補強材 ※図示による 力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) 寸法 ※径5.5mm 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 化粧目地モルタルの色 (・ 白 ・ グレー) シーリングの種類 (・ SR-1 ・ PS-1) 金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 ※図示による 形状 ※図示による 木下地の場合のアンカー等の取付け間隔 ・ 図示による 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示による	3. PCカーテン ウォール (17.3.2~6) (表17.3.1、2) 材料 コンクリート (種類 (・ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート1種)) 品質 設計基準強度 (Fc) ※30N/mm2 スランプ ※12cm 気乾単位容積質量 ・ 普通コンクリートの場合 2.1t/m3を超え2.5t/m3以下 ・ 軽量コンクリートの場合 1.8t/m3~2.1t/m3 単位水量の最大値 ※185kg/m3 鉄筋 種類の記号 ※SD295 補強鉄線 径 (mm) ・ 3.2 ・ 4.0 ・ 5.0 ・ 6.0 網目寸法 シーリング材の種類 (目地等) 種類及び寸法等 ※図示による ガラスの取付け材料 ・ 構造ガスケット 形状、寸法等 ・ 図示による 耐火処理 適用部位、材料等 ※図示による 断熱材 種類 () 種類及び範囲 ※図示による 先付けの材料 ・ 表面仕上材 ・ セラミックタイル ・ 石材 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール 形状及び仕上げ 製品の見え掛り部の寸法許容差 辺長 ※±3mm 対角線長の差 ※5mm 版厚 ※±2mm 開口部内法寸法 ※±2mm ねじれ、反り ※5mm 曲がり ※3mm 面の凸凹 ※3mm 先付け金物の位置 ※5mm PCカーテンウォールの仕上げ ・ 構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差 (mm) ※図示による 製作 PC版の配筋 ※図示による 取付け 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 鉛直方向 ※±10mm 水平方向 ※±25mm カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 目地の幅 ※±5mm 目地の心の通り ※3mm 目地両側の段差 ※4mm 各階の基準墨から各部位までの距離 ※±5mm ガラスの取付け方法 ・ ガラスの取付け材が構造用ガスケットで複層ガラス等を使用する場合は排水機能の設置及びガラスの封着処理の強化を行う	1. 材料 (18.1.3) ※F☆☆☆☆ 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 以下の箇所を除き防火材料とする。 (箇所 :) 2. 素地ごしらえ (18.2.2~7) 下地面等 種別 木部 不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・ B種 透明塗料塗りの場合 ※B種 ・ A種 鉄鋼面 (DP以外) ※C種 ・ A種 ・ B種 鉄鋼面 (DPのみ) ※B種 ・ A種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等以外) ※A種 ・ B種 亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等) ※B種 モルタル面及びせっこうプラスター面 ※B種 ・ A種 コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面 ※B種 ・ A種 押出成形セメント板面 ※B種 ・ A種 コンクリート面 (DPのみ) ※A種 ・ B種 せっこうボード面及びその他ボード面 ※B種 ・ A種 3. 錆止め塗料 塗り (18.3.2、3) 下地面 塗料の種類別 錆止め塗料の種類別 錆止め塗料塗りの工程 鉄鋼面 SOP As種 見え掛り : A種 見え隠れ : B種 DP Cs種及びDs種 表18.3.4 EP-G ※Bs種 ・ As種 見え掛り : A種 見え隠れ : B種 亜鉛めっき鋼面 SOP ※As種 ・ Bz種 鋼製建具等 : A種 上記以外 : B種 DP Bz種 表18.3.6 EP-G Cz種 鋼製建具等 : A種 上記以外 : B種 4. 塗装 (18.4.1~18.12.2) 塗装 種別 塗料の種類 ・ 合成樹脂調合ベイント 塗り (SOP) 木部屋外 ※A種 ・ B種 木部屋内 ※B種 ・ A種 鉄鋼面 ※B種 ・ A種 亜鉛めっき鋼面 - ・ クリヤラッカー塗り (GL) ※B種 ・ A種 - ・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD) ※B種 ・ A種 - ・ 耐候性塗料塗り (DP) 鉄鋼面 - 上塗り塗料の 等級 () 級 亜鉛めっき鋼面 - 上塗り塗料の 等級 () 級 コンクリート面 ・ A種 ・ B種 - 押出成形セメント板面 ・ C種 - ・ つや有合成樹脂エマル ションベイント塗り (EP-G) 鉄鋼面 ※B種 ・ A種 屋内の鉄鋼面 ※B種 ・ A種 亜鉛めっき鋼面 - ・ 合成樹脂エマルションベイント塗り (EP) ※B種 ・ A種 - ・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) ※B種 ・ A種 - ・ ビグメントステイン塗り - ・ 木材保護塗料塗り (WP) ※B種 ・ A種 - クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用 ・ 適用しない ・ 適用する (着色剤 : ・ 溶剤形着色剤 ・ 油性染料着色剤) ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用 ・ 適用する ・ 適用しない
	17. オーバー ヘッドドア (16.13.2、3) セクション材料 による区分 風圧力に よる強さ の区分 開閉方式 による区分 収納形式 による区分 ガイドレール の材料 ※ステールタイプ ・ アルミニウム タイプ ・ ファイバー グラスタイプ ・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125 ※バラン式 ・ チェーン式 ・ 電動式 ※スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形 ※溶融亜鉛 めっき鋼板 ・ ステンレス 鋼板 電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 ※建具表による) 18. ガラス (9.7) (16.14.2~4) (図16.14.1) ・ フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による ・ 型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による ・ 網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び 厚さの呼びによる種類 ※建具表による ・ 合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び 特性による種類 ※建具表による 落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類 ・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類 ・ 強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類、厚さの呼びによる種類及び特性に よる種類 ※建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・ I類 ・ III類 ・ 熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類 ※建具表による 性能による種類 ・ 1種 ・ 2種 ・ 複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※建具表による 断熱性による区分 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6 日射取得性及び日射遮蔽性による区分 ・ G ・ S 封入気体の種類 ・ 空気 ・ アルゴン ・ 熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による 日射熱遮蔽性による区分 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 耐久性による区分 (日射熱遮蔽性による区分が2種の場合) ・ A類 ・ B類 ・ 倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による ガラスの留め材及び溝の大きさ (16.14.2) (9.7) 建具の種類 ガラス留め材の種類 ガラス溝の大きさ (mm) アルミニウム製 ※シーリング材 ・ グレイジングガスケット ※建具製造所の仕様による ・ 図示による 鋼製及び鋼製軽量 ※シーリング材 ※建具製造所の仕様による ・ 図示による ステンレス製 ※シーリング材 ※建具製造所の仕様による ・ 図示による 樹脂製 ・ グレイジングガスケット ※建具製造所の仕様による ・ 図示による 取付け 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 鉛直方向 ※±10mm 水平方向 ※±25mm カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 目地の幅 ※±3mm 目地の心の通り ※2mm 目地両側の段差 ※2mm 各階の基準墨から各部位までの距離 ※±3mm 耐火処理 適用部位、材料等 ※図示による ガラスの取付け材料 ガラスの取付け材料がシーリングの場合のガラスの支持方法 ※4辺支持	17. カー テン ウォ ール 工事 (17.1.3) 取付け形態、 性能等 取付け形態による分類 ・ 層間方式 ・ 柱・梁方式 ・ 方立方式 ・ スパンドレル方式 性能 水密性 気密性 遮音性 断熱性 耐火性 耐温度差性 (°C) ・ 30分 ・ 1時間 ・ 80 ・ 70 ・ 60 主要部材の耐風圧性能 (ガラスを除く) 支間距離 (h) 耐風圧性能 4m以下 ・ たわみ量が±(1/150)×h かつ絶対量20mm以下であること 4mを超える ・ 性能の確認方法及び判定方法 ※性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し、監督職員の承諾を受ける 2. メタルカーテン ウォール (17.2.2、3、5、6) 金属系材料の種類 ・ アルミニウム材 ・ 鋼材 ・ ステンレス鋼材 シーリング材の種類 (目地等) 種類及び寸法等 ※図示による ガラスの取付け材料 ・ シーリング 種類 (・ SR-2 ・ SR-1) ・ 構造ガスケット 形状、寸法等 ※図示による 断熱材 種類及び範囲 ※図示による 形状及び仕上げ 製品の寸法許容差 ※標準仕様書表17.2.1による 見え掛り部の仕上げ (アルミニウム材の場合) 規格等 標準仕様書16.2.3による 種別 (標準仕様書表14.2.1) 着色 ・ 標準色 ・ 特注色 (鋼材及びステンレス鋼材の場合) ・ ガラス溝の寸法、形状等 ※カーテンウォールの製造所の仕様 取付け 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 鉛直方向 ※±10mm 水平方向 ※±25mm カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 目地の幅 ※±3mm 目地の心の通り ※2mm 目地両側の段差 ※2mm 各階の基準墨から各部位までの距離 ※±3mm 耐火処理 適用部位、材料等 ※図示による ガラスの取付け材料 ガラスの取付け材料がシーリングの場合のガラスの支持方法 ※4辺支持		

20 ユニット及びその他の工事	5. 手すり	<p>材料の種類及び仕上げ (20.2.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> SUS304 表面処理 ※HL程度 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 () 種) アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書表14.2.1による種別 () 種) 色合い ・標準色 () ・特注色 () <p>手すりの握り部分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径(mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・集成材 (材種:)</td> <td>・クリアラッカー</td> <td>・35程度 ・45程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ビニル製</td> <td></td> <td>・35程度 ・45程度</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>便所手すり</p> <ul style="list-style-type: none"> L型手すり (樹脂被覆タイプ 700×700×120) 可動手すり (樹脂被覆タイプ、はね上げタイプ (ロック付き) L=700) 固定手すり (樹脂被覆タイプ 800×800×230) 	材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考	・集成材 (材種:)	・クリアラッカー	・35程度 ・45程度			・ビニル製		・35程度 ・45程度			13. ロールスクリーン (20.2.15)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>操作方法</th> <th>スクリーンの材種</th> <th>その他の材料</th> <th>幅・高さ取付箇所</th> <th>品質等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・スプリング式 ・コード式 ・電動式</td> <td>・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製</td> <td>※製造所の仕様</td> <td>・図示による</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>スクリーンの仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの</p>	操作方法	スクリーンの材種	その他の材料	幅・高さ取付箇所	品質等	・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製	※製造所の仕様	・図示による	・	23. 旗竿	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>形式</th> <th>高さ(m)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※テーパー式 ・同一断面式</td> <td></td> <td>※ハンドル式 ・ロープ式</td> <td>・埋込式 ・ベース式 ・バンド式</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材種	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考	※アルミニウム合金製	※テーパー式 ・同一断面式		※ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式		21 排水工事	<p>1. 屋外雨水排水 (21.2.1、2) (表 21.2.1、2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>種類・記号</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>外圧管 (1種)</td> <td>・B形管</td> <td>・図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>・RS-VU ・VP ・VU</td> <td></td> <td>・図示による</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>基礎の厚さ及び種類 ・図示による</p> <p>硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ・接着剤 ・側塊の形状及び寸法 ・図示による</p> <p>排水溝の種類 ・図示による</p> <p>砂地業に用いる材料 ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂</p> <p>砂利地業に用いる材料 ・再生クラッシュラン ・切込砂利又は切込砕石</p> <p>現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 (N/mm²) ※18 スランプ (cm) ※15又は18</p> <p>現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295</p> <p>排水枡が現場打ちの場合の足掛け金物 ※標準仕様書21.2.2(6) (イ) 材質 ・ステンレス製 ・防錆処理を行った鋼製 ・合成樹脂被覆加工されたもの</p> <p>凍上抑制層に用いる材料 ・ (砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ・行わない</p>	材料	種類・記号	形状	呼び径	備考	・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管 (1種)	・B形管	・図示による		・硬質ポリ塩化ビニル管	・RS-VU ・VP ・VU		・図示による																																																																				
	材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考																																																																																																																										
	・集成材 (材種:)	・クリアラッカー	・35程度 ・45程度																																																																																																																												
	・ビニル製		・35程度 ・45程度																																																																																																																												
	操作方法	スクリーンの材種	その他の材料	幅・高さ取付箇所	品質等																																																																																																																										
	・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製	※製造所の仕様	・図示による	・																																																																																																																										
	材種	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考																																																																																																																									
	※アルミニウム合金製	※テーパー式 ・同一断面式		※ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式																																																																																																																										
	材料	種類・記号	形状	呼び径	備考																																																																																																																										
	・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管 (1種)	・B形管	・図示による																																																																																																																											
	・硬質ポリ塩化ビニル管	・RS-VU ・VP ・VU		・図示による																																																																																																																											
	6. 階段滑り止め	<p>材種 (20.2.7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ステンレス製 黄銅製押出型材 アルミニウム製押出型材 <p>形状</p> <ul style="list-style-type: none"> ※タイヤ型 (タイヤの材質: ゴム又は合成樹脂合等) ・タイヤレス型 <p>寸法 (幅)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・35mm程度 ・40mm程度 ・50mm程度 <p>取付け工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ※接着工法 ・埋込み工法 	14. カーテン (20.2.16)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>生地の種類、品質、特殊加工等</th> <th>取付け箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・シングル ・ダブル</td> <td>※手引き ・ひも引き ・電動</td> <td>・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・フレンひだ</td> <td></td> <td>・図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>生地仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの 暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上</p>	形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付け箇所	・シングル ・ダブル	※手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・フレンひだ		・図示による	24. 旗竿受金物	<table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>材種</th> <th>柱径、肉厚 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・上下式鎖内蔵式 ・標準品 ・スプリング式</td> <td>・ステンレス製</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	形式	材種	柱径、肉厚 (mm)	高さ (mm)	・上下式鎖内蔵式 ・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製			25. 車止めさく		26. フェンス	<p>フェンスの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス <p>高さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による 	27. プレキャストコンクリート (20.3.3、4)	<p>コンクリートの設計基準強度 (20.3.3、4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m²を満足する調合強度 ・図示による <p>配筋</p> <ul style="list-style-type: none"> ※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する ・図示による <p>取付け方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による 	28. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20.4.2、3)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・間知石</td> <td>・花こう岩 ・凝灰岩</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート間知ブロック</td> <td>—</td> <td>・A ・B</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>積み方</p> <ul style="list-style-type: none"> ※谷積み ・布積み <p>目塗り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による <p>伸縮調整目地</p> <p>材種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による <p>厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による 	材種	種類	質量区分	備考	・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	—	—	・コンクリート間知ブロック	—	・A ・B		29. 鋼製書架及び物品棚	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・鋼製書架</td> <td>JIS S 1039 の規格による</td> <td>・1種 ・2種 ・3種</td> </tr> <tr> <td>・鋼製物品棚</td> <td></td> <td>・4種 ・5種 ・6種</td> </tr> </tbody> </table>	種類	規格等	JISによる種類	・鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	・1種 ・2種 ・3種	・鋼製物品棚		・4種 ・5種 ・6種	30. 屋内掲示板	<p>枠の材質</p> <ul style="list-style-type: none"> ※アルミニウム製 <p>表面の材質</p> <ul style="list-style-type: none"> ※塩ビ発泡シート張り 	31. 洗面カウンター	<p>材種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メラミン樹脂化粧板張り (心材: 集成材) ・人工大理石 <p>奥行き (mm)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約450 ・約600 	32. 防煙垂れ壁	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※納入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス</td> <td>※6.8</td> <td>※500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> </tbody> </table> <p>・可動式</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・垂直降下式 (巻取り型)</td> <td>※不燃布 (不燃認定品)</td> <td>※500 ・800</td> <td>ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>・回転降下式</td> <td>鋼板製又はアルミ製</td> <td>※500 ・800</td> <td>表面仕上げ ※天井張り</td> </tr> </tbody> </table> <p>降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)</p>	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考	※納入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き	種類	材質	高さ (mm)	備考	・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井張り	33. 屋外掲示板	<p>照明器具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あり ・なし <p>施錠</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あり ・なし <p>製造所</p>	34. 収納家具	<p>合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量</p> <ul style="list-style-type: none"> ※F☆☆☆☆ <p>材質、形状、寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による 	2. 鉄製ふた (21.2.1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>鍵</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄製マンホールふた</td> <td>・水封形 ・簡易密閉形 (パッキン式) ・密閉形 (テーパーパッキン式) ・中ふた付き密閉形 (テーパーパッキン式)</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-20用</td> <td>・あり ・なし</td> <td>左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会 SHASE-S209 による。</td> </tr> </tbody> </table>	名称	種類	適用荷重	鍵	備考	鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形 (パッキン式) ・密閉形 (テーパーパッキン式) ・中ふた付き密閉形 (テーパーパッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・あり ・なし	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会 SHASE-S209 による。	3. グレーチング (21.2.1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>メソッド</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※鋼製</td> <td>・受枠付き、ボルト固定</td> <td>・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた ・U字溝用</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>・細目 ・普通目 ・細目</td> </tr> <tr> <td>・ステン製</td> <td>・受枠付き、ボルト固定</td> <td>・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた ・U字溝用</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材質	形式	用途	適用荷重	メソッド	※鋼製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目 ・普通目 ・細目	・ステン製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用		4. 街きよ、緑石及び側溝 (21.3.1、2) (表21.3.1)	<p>街きよ、緑石、側溝</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>形状・寸法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・緑石</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・L形側溝</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・U形側溝</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・U形側溝ふた</td> <td>・図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>砂地業に用いる材料 ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂</p> <p>砂利地業に用いる材料 ※再生クラッシュラン ・切込砂利又は切込砕石</p> <p>砂利地業の厚さ (mm) ※100 ・図示による</p> <p>現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 (N/mm²) ※18 スランプ (cm) ※15又は18</p> <p>現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295</p> <p>凍上抑制層に用いる材料 ・ (砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ・行わない</p>	種類	形状・寸法	・緑石	・図示による	・L形側溝	・図示による	・U形側溝	・図示による	・U形側溝ふた	・図示による	5. 埋戻し土 (21.2.1)
形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付け箇所																																																																																																																											
・シングル ・ダブル	※手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・フレンひだ		・図示による																																																																																																																											
形式	材種	柱径、肉厚 (mm)	高さ (mm)																																																																																																																												
・上下式鎖内蔵式 ・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製																																																																																																																														
材種	種類	質量区分	備考																																																																																																																												
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	—	—																																																																																																																												
・コンクリート間知ブロック	—	・A ・B																																																																																																																													
種類	規格等	JISによる種類																																																																																																																													
・鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	・1種 ・2種 ・3種																																																																																																																													
・鋼製物品棚		・4種 ・5種 ・6種																																																																																																																													
材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考																																																																																																																												
※納入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き																																																																																																																												
種類	材質	高さ (mm)	備考																																																																																																																												
・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)																																																																																																																												
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井張り																																																																																																																												
名称	種類	適用荷重	鍵	備考																																																																																																																											
鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形 (パッキン式) ・密閉形 (テーパーパッキン式) ・中ふた付き密閉形 (テーパーパッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・あり ・なし	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会 SHASE-S209 による。																																																																																																																											
材質	形式	用途	適用荷重	メソッド																																																																																																																											
※鋼製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目 ・普通目 ・細目																																																																																																																											
・ステン製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた (横断用) ・溝ふた (側溝用) ・樹ふた ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用																																																																																																																												
種類	形状・寸法																																																																																																																														
・緑石	・図示による																																																																																																																														
・L形側溝	・図示による																																																																																																																														
・U形側溝	・図示による																																																																																																																														
・U形側溝ふた	・図示による																																																																																																																														
7. 黒板及びホワイトボード (20.2.9)	<p>・黒板</p> <p>区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ※焼き付け <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ※鋼製黒板 ・ほうろう黒板 <p>色</p> <ul style="list-style-type: none"> ※緑 ・ホワイトボード 	15. カーテンレール (20.2.16)	<p>材料による区分 (20.2.16)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルミニウム及びアルミニウム合金の押し成型材 ※ステンレス製 <p>強さによる区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ※10-90 <p>仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※アルマイト <p>形状</p> <ul style="list-style-type: none"> ※角形 	25. 車止めさく		26. フェンス		27. プレキャストコンクリート (20.3.3、4)		28. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20.4.2、3)		29. 鋼製書架及び物品棚		30. 屋内掲示板		31. 洗面カウンター		32. 防煙垂れ壁		33. 屋外掲示板		34. 収納家具		2. 鉄製ふた (21.2.1)		3. グレーチング (21.2.1)		4. 街きよ、緑石及び側溝 (21.3.1、2) (表21.3.1)		5. 埋戻し土 (21.2.1)																																																																																																	
8. 鏡 (20.2.10)	<p>取付け箇所 ()</p> <p>寸法 (mm)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による <p>厚さ (mm)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※5 	16. ブラインドボックス及びカーテンボックス (20.2.16)	<p>材種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集成材 (仕上げ:) ※アルミニウム製 押し型材 (市販品) <p>標準仕様書表14.2.1による種別</p> <ul style="list-style-type: none"> ※BC-1種 ・BC-2種 <p>色合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準色 () ・特注色 () <p>鋼製 (仕上げ:)</p>	25. 車止めさく		26. フェンス		27. プレキャストコンクリート (20.3.3、4)		28. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20.4.2、3)		29. 鋼製書架及び物品棚		30. 屋内掲示板		31. 洗面カウンター		32. 防煙垂れ壁		33. 屋外掲示板		34. 収納家具		2. 鉄製ふた (21.2.1)		3. グレーチング (21.2.1)		4. 街きよ、緑石及び側溝 (21.3.1、2) (表21.3.1)		5. 埋戻し土 (21.2.1)																																																																																																	
9. 表示 (20.2.11)	<p>衝突防止表示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置する (設置場所: ※図示による ()) 形状・寸法 (※30φ ()) 材質 (※ステンレス製 ()) ・設置しない <p>誘導標識、非常用進入口等の表示</p> <ul style="list-style-type: none"> ※消防法に適合する市販品 <p>室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 (案内用図記号はJIS Z 8210による) ※図示による</p>	17. 天井点検口 (20.2.16)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※アルミニウム製</td> <td>※450×450 ・600×600</td> <td>・一般形 ・屋内用 ・気密形</td> <td>・屋内外用 ・額縁タイプ ※目地タイプ</td> <td>・額縁タイプ ・額縁タイプ ※目地タイプ</td> </tr> </tbody> </table>	材種	寸法	形式	外枠	内枠	※アルミニウム製	※450×450 ・600×600	・一般形 ・屋内用 ・気密形	・屋内外用 ・額縁タイプ ※目地タイプ	・額縁タイプ ・額縁タイプ ※目地タイプ	25. 車止めさく		26. フェンス		27. プレキャストコンクリート (20.3.3、4)		28. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20.4.2、3)		29. 鋼製書架及び物品棚		30. 屋内掲示板		31. 洗面カウンター		32. 防煙垂れ壁		33. 屋外掲示板		34. 収納家具		2. 鉄製ふた (21.2.1)		3. グレーチング (21.2.1)		4. 街きよ、緑石及び側溝 (21.3.1、2) (表21.3.1)		5. 埋戻し土 (21.2.1)																																																																																							
材種	寸法	形式	外枠	内枠																																																																																																																											
※アルミニウム製	※450×450 ・600×600	・一般形 ・屋内用 ・気密形	・屋内外用 ・額縁タイプ ※目地タイプ	・額縁タイプ ・額縁タイプ ※目地タイプ																																																																																																																											
10. タラップ (20.2.12)	<p>材質及び仕上げ (20.2.12)</p> <ul style="list-style-type: none"> SUS304 (スリップ止め加工 ※あり (なし)) 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 (※C種 (種))) 	18. 床点検口 (20.2.16)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製</td> <td>・450×450 ※600×600</td> <td>※一般形 ・密閉形</td> <td>・屋内外用 ・屋内用 ・鍵付き</td> </tr> </tbody> </table> <p>密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。</p>	材種	寸法	形式	備考	※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ※600×600	※一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用 ・鍵付き	25. 車止めさく		26. フェンス		27. プレキャストコンクリート (20.3.3、4)		28. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20.4.2、3)		29. 鋼製書架及び物品棚		30. 屋内掲示板		31. 洗面カウンター		32. 防煙垂れ壁		33. 屋外掲示板		34. 収納家具		2. 鉄製ふた (21.2.1)		3. グレーチング (21.2.1)		4. 街きよ、緑石及び側溝 (21.3.1、2) (表21.3.1)		5. 埋戻し土 (21.2.1)																																																																																									
材種	寸法	形式	備考																																																																																																																												
※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ※600×600	※一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用 ・鍵付き																																																																																																																												
11. 煙突ライニング (20.2.13)	<p>適用安全使用温度 (20.2.13)</p> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ※鋼製ユニット煙突 (煙突用成形ライニング材) 	19. 耐震スリット (20.2.16)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>方向</th> <th>幅 (mm)</th> <th>タイプ</th> <th>耐火性能</th> <th>防水性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・垂直</td> <td>・25</td> <td>・完全 (全貫通型)</td> <td>・耐火型</td> <td>・あり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・水平</td> <td>・25</td> <td></td> <td>・非耐火型</td> <td>・なし</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>目地</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目地</th> <th>内壁</th> <th>外壁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目地材</td> <td>・シーリング材 (見え掛かり部のみ)</td> <td>・シーリング材 (見え掛かり部のみ) ・シーリング材 (内外とも)</td> </tr> <tr> <td>目地寸法 (mm)</td> <td>・スリット幅×深さ10</td> <td>・スリット幅×深さ10</td> </tr> </tbody> </table> <p>目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による</p>	方向	幅 (mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考	・垂直	・25	・完全 (全貫通型)	・耐火型	・あり		・水平	・25		・非耐火型	・なし		目地	内壁	外壁	目地材	・シーリング材 (見え掛かり部のみ)	・シーリング材 (見え掛かり部のみ) ・シーリング材 (内外とも)	目地寸法 (mm)	・スリット幅×深さ10	・スリット幅×深さ10	25. 車止めさく		26. フェンス		27. プレキャストコンクリート (20.3.3、4)		28. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20.4.2、3)		29. 鋼製書架及び物品棚		30. 屋内掲示板		31. 洗面カウンター		32. 防煙垂れ壁		33. 屋外掲示板		34. 収納家具		2. 鉄製ふた (21.2.1)		3. グレーチング (21.2.1)		4. 街きよ、緑石及び側溝 (21.3.1、2) (表21.3.1)		5. 埋戻し土 (21.2.1)																																																																						
方向	幅 (mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考																																																																																																																										
・垂直	・25	・完全 (全貫通型)	・耐火型	・あり																																																																																																																											
・水平	・25		・非耐火型	・なし																																																																																																																											
目地	内壁	外壁																																																																																																																													
目地材	・シーリング材 (見え掛かり部のみ)	・シーリング材 (見え掛かり部のみ) ・シーリング材 (内外とも)																																																																																																																													
目地寸法 (mm)	・スリット幅×深さ10	・スリット幅×深さ10																																																																																																																													
12. ブラインド (20.2.14)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>操作方法の種類</th> <th>スラットの種類</th> <th>スラット幅</th> <th>ボックス・レールの材種</th> <th>幅・高さ取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・横形</td> <td>・手動 ・電動</td> <td>※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※7mmアルミニウム合金製</td> <td>※25</td> <td>※鋼製</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・縦形</td> <td>・手動 ・電動</td> <td>※2本操作コード式 ・1本操作コード式</td> <td>・7mmスラット ・4mmスラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>※7mmアルミニウム合金製</td> <td>・図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>縦型ブラインドのスラットの材質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ ・クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工 	形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの種類	スラット幅	ボックス・レールの材種	幅・高さ取付箇所	・横形	・手動 ・電動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※7mmアルミニウム合金製	※25	※鋼製	・図示による	・縦形	・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・7mmスラット ・4mmスラット	・80 ・100	※7mmアルミニウム合金製	・図示による	20. 止水材 (20.2.16)	<p>形式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・据置式 (水膨張製ゴム、膨張遅延型、W20×t10) ・差込式 ・壁張り式 <p>施工箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図示による 	25. 車止めさく		26. フェンス		27. プレキャストコンクリート (20.3.3、4)		28. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20.4.2、3)		29. 鋼製書架及び物品棚		30. 屋内掲示板		31. 洗面カウンター		32. 防煙垂れ壁		33. 屋外掲示板		34. 収納家具		2. 鉄製ふた (21.2.1)		3. グレーチング (21.2.1)		4. 街きよ、緑石及び側溝 (21.3.1、2) (表21.3.1)		5. 埋戻し土 (21.2.1)																																																																												
形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの種類	スラット幅	ボックス・レールの材種	幅・高さ取付箇所																																																																																																																									
・横形	・手動 ・電動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※7mmアルミニウム合金製	※25	※鋼製	・図示による																																																																																																																									
・縦形	・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・7mmスラット ・4mmスラット	・80 ・100	※7mmアルミニウム合金製	・図示による																																																																																																																									

22	舗装工事	1. 路床	<p>路床の材料 (22.2.2、3、5) (表22.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>※再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (標準仕様書表21.2.2による)</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>標準仕様書22.2.3.(3)による</td> <td>・図示による</td> </tr> </table> <p>(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ※行わない</p> <p>・路床安定処理 安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法 路床安定化処理用添加材料 種類 ※普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 (・特号 ・1号) ・消石灰 (・特号 ・1号) 添加量 kg/m³ (CBR ・3以上)</p> <p>・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m²以上 厚さ (mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・1.5×10⁻¹ cm/sec以上</p> <p>試験 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・行う ※行わない 路床締固め度の試験 ※行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない</p>	種別	材料	厚さ (mm)	・盛土	・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示による	・凍上抑制層	※再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (標準仕様書表21.2.2による)	・図示による	・フィルター層	標準仕様書22.2.3.(3)による	・図示による	5. カラー舗装 (22.6.2~4)	<p>・加熱系カラー舗装 (22.6.2~4)</p> <p>構成・厚さ ・図示による 加熱系混合物の結合材 ※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物 顔料の添加量 (%)</p> <p>添加材 着色骨材 () 自然石 ()</p> <p>・常温系カラー舗装 工法 ・ニート工法 (配合その他:) ・塗布工法 (配合その他:) 着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装</p> <p>舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>	23	舗装及び屋上緑化工事	1. 植栽地の確認等 (23.1.3)	<p>土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・行う ・行わない 電気伝導度 (EC) の試験 ・行う ・行わない</p>	24	総揮発性有機化合物 (TVOC) 測定	<p>1. 一般事項</p> <p>2. 測定対象化学物質</p> <p>3. 測定方法</p> <p>1) クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をTVOC濃度とする。 2) トルエン換算で 2.0 μg/m³未満のピークは測定の対象としない。 3) 上位10ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。</p> <table border="1"> <caption>表 測定対象化学物質及び室内濃度指針値</caption> <thead> <tr> <th>化学物質名</th> <th colspan="3">室内濃度指針値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①ホルムアルデヒド</td> <td>100 μg/m³</td> <td>0.08 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②トルエン</td> <td>260 μg/m³</td> <td>0.07 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③キシレン</td> <td>200 μg/m³</td> <td>0.05 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④エチルベンゼン</td> <td>370 μg/m³</td> <td>0.085 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤スチレン</td> <td>220 μg/m³</td> <td>0.05 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥パラジクロロベンゼン</td> <td>240 μg/m³</td> <td>0.04 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦テトラヒカン</td> <td>330 μg/m³</td> <td>0.04 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑧アセトアルデヒド</td> <td>48 μg/m³</td> <td>0.03 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑨ノナール</td> <td>(暫定)41 μg/m³</td> <td>0.007 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑩フタル酸ジ-n-ブチル</td> <td>17 μg/m³</td> <td>0.0015 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル</td> <td>100 μg/m³</td> <td>0.0063 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑫クロロピリホス</td> <td>1 μg/m³</td> <td>0.00007 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑬ダイアジノン</td> <td>0.29 μg/m³</td> <td>0.00002 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑭フェノブカルブ</td> <td>33 μg/m³</td> <td>0.0038 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑮総揮発性有機化合物 (TVOC)</td> <td>400 μg/m³</td> <td>(暫定目標値)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 測定する室</p> <p>1) 14物質及びTVOC濃度を測定する室等 ・室名:</p> <p>2) 9物質及びTVOC濃度を測定する室 ・室名: ・屋外(周囲の建物から離れた場所1か所)</p> <p>5. 測定結果等報告書の提出</p> <p>次の事項を記載した報告書を2部提出する。 1) 測定結果 (25℃換算値) 2) 試料採取時の状況 (気温・湿度(屋外、室内)、天候、風の状況、日射進入状況、採取年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成から試料採取までの日数) 3) 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器 4) TVOC濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し</p> <p>6. その他</p> <p>表の化学物質①から⑮のうち、いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は、工事目的物の引渡しを受けない。 TVOCの測定の結果、暫定目標値を超える場合は、発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について、協議を行うこと。</p>	化学物質名	室内濃度指針値			①ホルムアルデヒド	100 μg/m ³	0.08 ppm		②トルエン	260 μg/m ³	0.07 ppm		③キシレン	200 μg/m ³	0.05 ppm		④エチルベンゼン	370 μg/m ³	0.085 ppm		⑤スチレン	220 μg/m ³	0.05 ppm		⑥パラジクロロベンゼン	240 μg/m ³	0.04 ppm		⑦テトラヒカン	330 μg/m ³	0.04 ppm		⑧アセトアルデヒド	48 μg/m ³	0.03 ppm		⑨ノナール	(暫定)41 μg/m ³	0.007 ppm		⑩フタル酸ジ-n-ブチル	17 μg/m ³	0.0015 ppm		⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100 μg/m ³	0.0063 ppm		⑫クロロピリホス	1 μg/m ³	0.00007 ppm		⑬ダイアジノン	0.29 μg/m ³	0.00002 ppm		⑭フェノブカルブ	33 μg/m ³	0.0038 ppm		⑮総揮発性有機化合物 (TVOC)	400 μg/m ³	(暫定目標値)																														
		種別	材料	厚さ (mm)																																																																																																																	
・盛土	・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示による																																																																																																																			
・凍上抑制層	※再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂 (標準仕様書表21.2.2による)	・図示による																																																																																																																			
・フィルター層	標準仕様書22.2.3.(3)による	・図示による																																																																																																																			
化学物質名	室内濃度指針値																																																																																																																				
①ホルムアルデヒド	100 μg/m ³	0.08 ppm																																																																																																																			
②トルエン	260 μg/m ³	0.07 ppm																																																																																																																			
③キシレン	200 μg/m ³	0.05 ppm																																																																																																																			
④エチルベンゼン	370 μg/m ³	0.085 ppm																																																																																																																			
⑤スチレン	220 μg/m ³	0.05 ppm																																																																																																																			
⑥パラジクロロベンゼン	240 μg/m ³	0.04 ppm																																																																																																																			
⑦テトラヒカン	330 μg/m ³	0.04 ppm																																																																																																																			
⑧アセトアルデヒド	48 μg/m ³	0.03 ppm																																																																																																																			
⑨ノナール	(暫定)41 μg/m ³	0.007 ppm																																																																																																																			
⑩フタル酸ジ-n-ブチル	17 μg/m ³	0.0015 ppm																																																																																																																			
⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100 μg/m ³	0.0063 ppm																																																																																																																			
⑫クロロピリホス	1 μg/m ³	0.00007 ppm																																																																																																																			
⑬ダイアジノン	0.29 μg/m ³	0.00002 ppm																																																																																																																			
⑭フェノブカルブ	33 μg/m ³	0.0038 ppm																																																																																																																			
⑮総揮発性有機化合物 (TVOC)	400 μg/m ³	(暫定目標値)																																																																																																																			
2	路盤	<p>路盤の厚さ (22.3.2、3) (表 22.3.1)</p> <p>・図示による</p> <p>路盤材料 (標準仕様書表22.3.1による種別)</p> <p>・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ※再生クラッシュラン ・再生粒度調整砕石 ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ</p>	6. 透水性アスファルト舗装 (22.7.2、3、6)	<p>舗装の構成 (22.7.2、3、6)</p> <p>・図示による</p> <p>材料 骨材 ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 (標準仕様書表22.4.1による種類: ・60~80 ・80~100)</p> <p>舗装の平坦性 ※着しい不陸がないもの</p> <p>試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ※行わない</p>	3. 植込み用土 (23.2.3)	<p>※現場発生土の良質土 ・客土</p>	4. 土壌改良材 (23.2.3)	<p>種類及び指定量等 ・パーク堆肥 施工箇所 ※植栽範囲 ・図示による 使用量 植栽基盤面積1m²あたり (・50L) ・汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) 施工箇所 ※植栽範囲 ・図示による 使用量 植栽基盤面積1m²あたり (・10L)</p>	5. 樹木 (23.3.2)	<p>樹種、寸法、株立数等 ※図示による</p>	6. 支柱 (23.3.2、3)	<p>支柱材 ※丸太 (間伐材) ・真竹 防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 形式 ・図示による</p>	7. 幹巻き用材料 (23.3.2)	<p>材料 ※幹巻き用テープ ・わら及びこも</p>	8. 芝 (23.4.2、3)	<p>種類 ※コウライシバ ・ノシバ 芝張りの工法 平地 ※目地張り ・べた張り 法面 ※べた張り法面 ・目地張り</p>	9. 吹付けは種 (23.4.2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種子の種類</th> <th>発芽率</th> <th>種子の量 (g/m²)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※洋芝類 (採取後2年以内)</td> <td>※発芽率80%以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m ²)	備考	※洋芝類 (採取後2年以内)	※発芽率80%以上			10. 地被類 (23.4.2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>樹種</th> <th>コンテナ径</th> <th>単位面積当たりのコンテナ数</th> <th>芽立数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数					11. 新植、芝等の枯損償、移植樹木の枯損処置 (23.3.4、6) (23.4.7) (23.5.5)	<p>新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の 枯損償の期間 ※引渡しの日から1年 ・なし 移植樹木の枯損処置を行う期間 ※引渡しの日から1年 ・なし</p>	12. 屋上緑化 (23.5.2~4)	<p>植栽基盤及び材料 (23.5.2~4)</p> <p>・屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・図示による 排水層 ・軽量骨材 (層の厚さ:) ・板状成形品 植込み用土 ※改良土 ・人工軽量土 樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等 ※図示による 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示による</p> <p>支柱 ・設置する ・設置しない 形式 ・図示による</p> <p>かん水装置 ・設置する ・設置しない 種類 ・図示による</p>																																																																													
種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m ²)	備考																																																																																																																		
※洋芝類 (採取後2年以内)	※発芽率80%以上																																																																																																																				
樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数																																																																																																																		
3.	アスファルト舗装	<p>アスファルト舗装の構成及び厚さ (22.4.2~6) (表 22.4.4)</p> <p>※図示による</p> <p>材料 アスファルト ・再生アスファルト (標準仕様書表22.4.1による種類: ・60~80 ・80~100) ・ストレートアスファルト 骨材 ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 加熱アスファルト混合物等の種類 ・密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13) ・密粒度アスファルト混合物 (13F)</p> <p>舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p> <p>試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ※行わない</p>	7. ブロック系舗装 (22.8.2、3)	<p>※コンクリート平板舗装 (22.8.2、3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>目地材</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・普通平板 (N)</td> <td>・300角</td> <td>※60</td> <td>※砂</td> <td>表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し</td> </tr> <tr> <td>・透水平板 (P)</td> <td></td> <td></td> <td>・モルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・保水性平板 (M)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。</p> <p>・インターロッキングブロック舗装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>部位</th> <th>形状寸法</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>曲げ強度 (N/mm²)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※普通ブロック (N)</td> <td>車路</td> <td>・図示による</td> <td>※80</td> <td>※5.0</td> <td rowspan="2">表面加工</td> </tr> <tr> <td>・透水性ブロック (P)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・保水性ブロック (M)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※普通ブロック (N)</td> <td>歩行者用通路</td> <td>・図示による</td> <td>※60</td> <td>※3.0</td> <td rowspan="2">表面加工</td> </tr> <tr> <td>・透水性ブロック (P)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・保水性ブロック (M)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内とする。</p> <p>・舗石舗装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>形状・寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>張り方</th> <th>基層</th> <th>基層の厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・花こう岩</td> <td>・割石 ・図示による</td> <td></td> <td></td> <td>・コンクリート版</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・アスファルト混合物</td> <td>※70</td> </tr> </tbody> </table> <p>クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 仕上り面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内とする。</p>	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考	・普通平板 (N)	・300角	※60	※砂	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し	・透水平板 (P)			・モルタル		・保水性平板 (M)					種類	部位	形状寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	備考	※普通ブロック (N)	車路	・図示による	※80	※5.0	表面加工	・透水性ブロック (P)					・保水性ブロック (M)						※普通ブロック (N)	歩行者用通路	・図示による	※60	※3.0	表面加工	・透水性ブロック (P)					・保水性ブロック (M)						種類	形状・寸法 (mm)	厚さ (mm)	張り方	基層	基層の厚さ (mm)	・花こう岩	・割石 ・図示による			・コンクリート版	※70					・アスファルト混合物	※70	8. 砂利敷き (22.9.2)	<p>種類 (22.9.2)</p> <p>※A種 (施工範囲: ・図示による ※通路) ※B種 (施工範囲: ・図示による ※建物周囲その他)</p>	9. 路面標示用塗料	<p>路面標示用塗料はJIS K 5665による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>施工</th> <th>適用</th> <th>色</th> <th>幅 (mm)</th> <th>塗布厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※3種1号</td> <td>溶解</td> <td>粉体状</td> <td>・白</td> <td>・150</td> <td>・1.0</td> </tr> <tr> <td>・1種</td> <td>常温</td> <td>液状</td> <td></td> <td>・100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・2種</td> <td>加熱</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	※3種1号	溶解	粉体状	・白	・150	・1.0	・1種	常温	液状		・100		・2種	加熱					宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号 電話 022-211-326 (5 班) FAX 022-211-3190 宮城県土木部営繕課	設計年月日	調査者氏名	設計者氏名	工事名称	全業	図面 No
種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考																																																																																																																	
・普通平板 (N)	・300角	※60	※砂	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し																																																																																																																	
・透水平板 (P)			・モルタル																																																																																																																		
・保水性平板 (M)																																																																																																																					
種類	部位	形状寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	備考																																																																																																																
※普通ブロック (N)	車路	・図示による	※80	※5.0	表面加工																																																																																																																
・透水性ブロック (P)																																																																																																																					
・保水性ブロック (M)																																																																																																																					
※普通ブロック (N)	歩行者用通路	・図示による	※60	※3.0	表面加工																																																																																																																
・透水性ブロック (P)																																																																																																																					
・保水性ブロック (M)																																																																																																																					
種類	形状・寸法 (mm)	厚さ (mm)	張り方	基層	基層の厚さ (mm)																																																																																																																
・花こう岩	・割石 ・図示による			・コンクリート版	※70																																																																																																																
				・アスファルト混合物	※70																																																																																																																
種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)																																																																																																																
※3種1号	溶解	粉体状	・白	・150	・1.0																																																																																																																
・1種	常温	液状		・100																																																																																																																	
・2種	加熱																																																																																																																				
						図面名称	Scale		特記仕様書 (10)																																																																																																												